

# 整形外科学

主任教授 吉田宗人

准教授 山田宏

講師 橋爪洋 湯川泰紹 南出晃人 中川幸洋 岩崎博 筒井俊二

助教 高見正成 中尾慎一 宮本選 谷口隆哉 谷口亘 福井大輔 下江隆司 神埜聖治

## 研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキンベック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1. 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究
  - 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
  - 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
  - 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
  - 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
  - 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
  - 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
  - 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
  - パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
  - パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
  - パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
  - 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
  - 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究
2. 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究
  - 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
  - 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
  - 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究
3. 骨形成タンパク(OP-1)の臨床応用に関する研究
  - 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
  - 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究
4. その他
  - キンベック病に関する臨床的研究
  - マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
  - 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

## 著書

### a)学術

1. 川上 守：診療ガイドライン 25. 腰痛診療ガイドライン 2012「今日の治療指針 2016」山口 徹、北原光夫、医学書院、東京、pp.1997-2000, 2016.
2. 川上 守：透析性脊椎症。「今日の整形外科治療指針 第7版」土屋弘行、紺野慎一、田中康仁、田中 栄、松田秀一医学書院、東京 pp. 555-557, 2016.
3. 川上 守：脊髄出血。「今日の整形外科治療指針 第7版」土屋弘行、紺野慎一、田中康仁、田中 栄、松田秀一、医学書院、東京 pp.564-565, 2016.
4. 山田 宏：整形外科に必要な社会的知識と制度 4. 医療保険制度・公費負担制度, 5. 医薬品副作用被害救済制度, 6. 障害者認定, 7. 感染症届出基準：p639-648, 整形外科研修医ノート 総監修 永井良三 編集 齋藤知行 大塚隆信 久保俊一 診断と治療社 2014年初版第2刷
5. 山田 宏：診断総論 3次元CTと3次元MRI p2-3 今日の整形外科治療指針 第7版 医学書院 編集 土屋弘行 紺野慎一 田中康仁 田中栄 松田秀一
6. 橋爪洋：腰痛・下肢痛のとらえ方診断手順. 今日の整形外科治療指針第7版. 編集土屋弘行・紺野慎一・田中康仁・田中栄・松田秀一、pp657-659、医学書院、東京、2016
7. 南出晃人：腰椎椎間板ヘルニア（坐骨神経痛を含む）、今日の治療指針 私はこう治療している、山口徹、北原光男 編、pp1098-1100、医学書院、東京、2016
8. 中川幸洋：腰椎再手術（医原性術後障害）. 今日の整形外科治療指針(第7版); 土屋弘之、紺野慎一、田中康仁、田中栄、松田秀一 編、pp675-677, 医学書院、東京、2016

### 総説

1. 山田 宏：腰椎椎間孔部病変の診断に関するわれわれの流儀. 整形外科サージカルテクニック 6(3):358-360, 2016
2. 安藤宗治：脊髄機能モニタリングにおける multimodal monitoring の有用性. 臨床神経生理 44:120-127, 2016
3. 橋爪 洋、寺口真年、吉村典子、吉田宗人：【ロコモティブシンドローム-長寿時代の各科に必要な運動器の最新知識】ロコモの原因としての腰椎椎間板障害の病態と対策. カレントセラピー 34 : 27-31、2016
4. 橋爪 洋：腰痛の薬物療法. Vita 33:32-35、2016
5. 湯川 泰紹：特集「頸椎椎弓形成術 バリエーションとその極意」頸椎椎弓形成術 開発から現在までを振り返って. 整形外科サージカルテクニック 6(1): 12-15 2016
6. 湯川 泰紹：胸椎・腰椎脱臼骨折の分類と治療指針,保存治療. 脊椎脊髄ジャーナル 29(4), 367-374, 2016
7. 中川幸洋：脊椎手術における MIS の功罪. 臨床整形外科 51(2): 123-131, 2016
8. 中川幸洋 吉田宗人：アスリートに対する頸椎内視鏡手術. 関節外科 35(5): 71-81, 2016
9. 中川幸洋 吉田宗人:各科領域における内視鏡下手術・治療 No.17 脊椎内視鏡下手術. 日医雑誌 145(8): 1652-1653, 2016
10. Tsutsui S, Yamada H. Basic principles and recent trends of transcranial motor evoked potentials in intraoperative neurophysiologic monitoring. Neuro Med Chir (Tokyo). 2016, 56:451-6
11. 谷口亘, 中塚映政：痛みの Clinical Neuroscience 8 脊髄機能変化と痛み：アロディニアなどのメカニズムを巡って. 最新医学 71(2): 112-115, 2016 最新医学社
12. 谷口亘, 中塚映政：特集“痛みとかゆみ”【痛み・かゆみの科学】 3. 痛みの神経伝達機序 JOHNS 32(5) : 551-554, 2016 東京医学社
13. 石元優々 吉田宗人：脊椎疾患診療マニュアル-私のコツ-腰部脊柱管狭窄症と頸髄圧迫について. Monthly Book Orthopadics 2016.10月増刊 vol.29 no.10

14. 長田圭司、川上 守：新専門医制度に備えた必履修分野の教え方・学び方 II. 必履修分野の研修方法 外傷/脊椎の骨折. 関節外科 35(4)増刊号：206-214, 2016.

#### 原著

1. 吉田宗人：脊椎脊髄の疫学研究からみた常識との違いと臨床的意義. 日本整形外科学会雑誌 36(4) pp290(2016)
2. 吉田宗人：新専門医制度発足にあたって整形外科の立場から脳外科の若手医師に学んでほしい事 Journal of Spine Research 7(3) pp199(2016)
3. 吉田宗人：神経根症を伴う腰椎変性側彎症に対する手術治療 内視鏡下除圧の立場から. 日本整形外科学会雑誌 7(3) pp199(2016)
4. Kawakami M, Ishimoto Y, Nagata K, Kitagawa T, Matsuoka T : A comparative study of axial pain in cervical myelopathy patients treated with laminoplasty and healthy volunteers. ISASS 16 Full Abstract Book:89, 2016.
5. 川上 守、石元優々、長田圭司、北川智子題：高齢者腰部脊柱管狭窄症患者の手術満足度に影響する術前心理因子の検討：J Spine Research 7(3):551, 2016
6. 川上 守、石元優々、長田圭司、北川智子：高齢者腰部脊柱管狭窄症患者の手術満足度に影響する術前因子の検討：日整会誌 90(3):S895,2016.
7. 川上 守、吉田隆紀、石元優々、森下詔子、松岡淑子、北川智子：腰椎疾患の脳由来神経栄養因子について一心理的評価を含む多面的評価との関係：J Spine Res. 7:1048-1051,2016.
8. 岡安 勤、下薗英史、辻 亜紀子：麻痺性股関節脱臼に対する Barr 変法および軟部組織解剖術の適応の限界について. 脳性麻痺の外科研究会誌 vol.26,113-118,2016
9. 山田 宏：成人脊柱変形に対する新しい低侵襲手術. 大阪臨床整形外科学会会報 第 42 号 81-83,2016
10. 山田 宏：XLIF®の合併症と対策 整形外科最小侵襲手術ジャーナル 79: 67-75, 2016
11. 安藤 宗治、玉置 哲也、松本 卓二、麻殖生 和博、瀧口 登、吉田 宗人：胸椎椎間板ヘルニアに対する脊髄機能モニタリングを併用した後方椎間板摘出術の検討. Journal of Spine Research7(3):395, 2016
12. 安藤 宗治、玉置 哲也、松本 卓二、麻殖生 和博、瀧口 登、吉田 宗人：経頭蓋電気刺激・筋誘発電位を用いた頸椎椎弓形成術時の C5 麻痺予防のモニタリング. Journal of Spine Research7(3):395, 2016
13. 安藤 宗治、玉置 哲也、峠 康、麻殖生 和博、坂田 亮介、阿部 唯一、瀧口 登、久保井 勇樹、佐々木 俊二、松本 卓二、吉田 宗人：胸髄症の手術における術中脊髄機能モニタリングの検討. 日本整形外科学会雑誌 90(3): S867,2016
14. 湯川泰紹、加藤文彦、須田浩太、山縣正庸、植田尊善：脊椎骨盤矢状面パラメーターの性差と加齢変化—631 名の健常者データから— Journal of spine research : 7(1); 11-15, 2016
15. Yukawa Y, Kato F, Suda K, Yamagata M, Ueta T, Yoshida M: Normative data for parameters of sagittal spinal alignment in healthy subjects: an analysis of gender specific differences and changes with aging in 626 asymptomatic individuals. Eur Spine J. [Epub ahead of print] (2016)
16. 松本 卓二、峠 康、麻殖生 和博：大腿骨転子部骨折における骨幹部骨片の外側不安定性についての考察. 骨折 38(Suppl):S407,2016
17. 松本 卓二、峠 康、麻殖生 和博：大腿骨近位型髓内釘 ITERTAN のラグスクリューの外側皮質内陥入例の検討. 骨折 38(Suppl):S406,2016
18. 松本 卓二、峠 康、麻殖生 和博：高齢者大腿骨転子部骨折における中野 3D-CT 分類を用いた遠位横止めを使用しない long nail の臨床成績の検討. 骨折 38(Suppl):S402,2016
19. 松本 卓二、安藤 宗治、麻殖生 和博、福井 大輔、佐々木 俊二：びまん性脊椎骨増殖症および骨粗鬆症性椎体骨折の胸腰椎脊椎骨折手術症例における患者の病態における比較検討. Journal of Spine Research7(3):364, 2016
20. 松本 卓二、吉田 宗人、山田 宏、岩崎 安博：整形外科疾患における救急患者の外傷重症度スコアによる重症度の検討 整形関連疾患と他疾患の重症度および症例数の比較検討. 日本整形外科学会雑誌 90(3): S1057,2016

21. 松本 卓二, 木村 友香子 : サルコペニア由来の高齢者大腿骨近位部骨折および脊椎椎体骨折における栄養補助食品の効能の比較検討. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 31(1):388,2016
22. 松本 卓二, 木村 友香子 : リハビリテーション後に投与する栄養補助食品の大腿骨頸部骨折患者における栄養学的指標の改善効果. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 31(1):272,2016
23. Minamide A, Yoshida M, Iwahashi H, Simpson AK, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Kagotani R, Sonekatsu M, Sasaki T, Shinto K, Deguchi T. Minimally invasive decompression surgery for lumbar spinal stenosis with degenerative scoliosis: predictive factors of radiographic and clinical outcomes. *J Orthop Sci*, 2016, in press.
24. 南出晃人 : 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術の長期臨床成績. 整形外科 67(10): 1109-1112, 2016
25. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 中尾慎一, 籠谷良平, 岩橋弘樹 : 頸椎症性筋萎縮症に対する後方内視鏡下除圧術の成績. *Journal of spine research* 7(3): 205, 2016
26. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 中尾慎一, 籠谷良平, 岩橋弘樹 : 脊椎 Revision surgery における XLIF(eXtreme Lateral Interbody Fusion)の成績と有用性. *Journal of spine research* 7(3): 234, 2016
27. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 岩崎博, 筒井俊二, 中尾慎一, 岡田紗枝, 岩橋弘樹 : 脊椎内視鏡手術における合併症と対策. *Journal of spine research* 7(9): 1377-1381, 2016
28. Minami S, Miyake Y, Kinoshita H : Lipoma arborescens arising in the extra-articular bursa of the knee joint. *SICOT J*. 2016 ;2:28. doi: 10.1051/sicotj/2016019. Epub 2016 Jul 6.
29. 岩崎 博, 中川幸洋, 吉田宗人 : 【低侵襲脊椎手術の合併症と Revision Surgery】MED の合併症とその対策 (頸椎、腰椎) . 整形外科最小侵襲手術ジャーナル 79:4-11, 2016
30. 岩崎博, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人 : 低侵襲側方進入腰椎椎体間固定手術における術中・術後早期合併症-lateral lumbar interbody fusion(LLIF)を安全に行うために-. 整・災 59 : 1663-1668,2016
31. Takami M : Elwany A, Destandau J. Accuracy and evaluation of irradiation of novel localization devices with unique three-dimensional structures in microendoscopic spine surgery. *Eur J Orthop Surg Traumatol*. 26(3):253-8, 2016
32. 岩田勝栄 : 臨床室 複数指にみられた外傷のない伸筋腱脱臼の1例. 整形外科 67(1), 26-28, 2016
33. 岩田勝栄 : 手指皮膚軟部組織欠損に対する Superficial Palmar Branch of the Radial Artery Flap による治療経験. 日本手外科学会雑誌 32(5), 614-618, 2016
34. 谷口亘, 宮本選, 谷口隆哉, 佐々木貴英, 曾根勝真弓, 阿部唯一, 宮崎展行, 吉田宗人 : THA によって破局的思考は改善されるのか? *Hip Joint* 42: 704-707, 2016
35. Ishimoto Y, Yoshimura N, Muraki S, Yamada H, Nagata K, Hashizume H, Takiguchi N, Minamide A, Oka H, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M: Association of Lumbar Spondylolisthesis with Low Back Pain and Symptomatic Lumbar Spinal Stenosis in a Population-based Cohort: The Wakayama Spine Study. *Spine (Phila Pa 1976)*. 2016 Oct 24.
36. 石元優々, 川上守, 中尾慎一, 松岡淑子, 安岡弘直, 長田圭司 : 高齢者に発生した腰椎 Endodermal Cyst の1例. 臨床整形外科 51巻5号 P481-485 (2016.5)
37. Ishimoto Y, Kawakami M, Nakao S, Nagata K, Kitagawa T, Matsuoka T, Yamada H : Surgical outcomes of pedicle screw with cortical bone trajectory compared with conventional trajectory for patients with lumbar spinal stenosis : ISASS 16 Full Abstract Book:137-138, 2016.
38. 石元優々, 川上 守 : 地域住民における腰痛と膝痛・腰部脊柱管狭窄症の有病率とその関係について—かつらぎ study— : *Osteoporosis Japan PLUS* 1:84-86,2016.
39. 石元優々, 川上 守, 長田圭司, 松岡淑子, 谷川聖子 : 腰椎手術後の髄液瘻に対する静脈血注入療法 : 中部整災誌

40. 石元優々、川上 守、中尾慎一、長田圭司、北川智子、松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症固定術に対する CBT 法と従来法スクリューの術後比較検討： *J Spine Research* 7(3):663, 2016.
41. 長田圭司、石元優々、森下詔子、松岡淑子、川上 守：当院における軸椎骨折の特徴とその注意点：中部整災誌.
42. 長田圭司、川上 守、高橋和久、石元優々：QOL や心理的評価を加えた頸部愁訴の特徴： *J Spine Research* 7(3):332, 2016.
43. Nagata K, Hashizume H, Yamada H, Yoshida M: Long-term survival case of malignant glomus tumor mimicking "dumbbell-shaped" neurogenic tumor. *Eur Spine J.* [Epub ahead of print] (2016)
44. Fukui D, Kawakami M, Nakao S, Miyamoto E, Morishita S, Matsuoka T, Yamada H: Reduced blood loss and operation time in lumbar posterolateral fusion using a bipolar sealer. *European Spine Journal* 2016 E-pub ahead of print.
45. Fukui D, Kawakami M, Cheng K, Murata K, Yamada K, Sato R, Yoshida M, Yamada H, Inoue N, Masuda K: Three-dimensional micro-computed tomography analysis for spinal instability after lumbar facetectomy in the rat. *European Spine Journal* 2016 in press
46. Fukui D, Matsumoto T, Naiki M, Masuda K, Kawakami M: Psychological stress enhances gait disturbance and allodynia induced by lumbar facetectomy in the rat. : "Orthopaedic Research Society 2016 Annual Meeting Abstracts" iBooks. Poster No.1747, 2016.
47. Fukui D, Kawakami M, Cheng K, Murata K, Yamada K, Sato R, Yoshida M, Yamada H, Inoue N, Masuda K.: Development of a support tool for the clinical diagnosis of symptomatic lumbar intra- and/or extra-foraminal stenosis. *Eur Spine J.* [Epub ahead of print] (2016)
48. 福井大輔、松元智規、内木 充、川上 守：Stress は腰痛を発症させるか：日整会誌 90 (8):S1689,2016.
49. 下江隆司、橋本忠晃、神埜聖治、浅井宣樹、出口剛士、吉田宗人:前腕の開放骨折および軟部組織損傷を伴う肘頭部皮膚軟部組織欠損に対して逆行性外側上腕皮弁による治療を行った1例. 中部整災誌 59:921-922, 2016
50. Teraguchi M, Samartzis D, Hashizume H, Yamada H, Muraki S, Oka H, Cheung JP, Kagotani R, Iwahashi H, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Cheung KM, Yoshimura N, Yoshida M : Classification of high intensity zones of the lumbar spine and their association with other spinal MRI phenotypes: the Wakayama Spine Study. *PLoS ONE* 2016 11(9): e0160111.
51. Teraguchi M, Yoshimura N, Hashizume H, Muraki S, Yamada H, Oka H, Minamide A, Ishimoto Y, Nagata K, Kagotani R, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M: Metabolic Syndrome Components Are Associated with Intervertebral Disc Degeneration: The Wakayama Spine Study. *PLoS One* 11:e0147565、2016
52. Iwahashi H, Yoshimura N, Hashizume H, Yamada H, Oka H, Matsudaira K, Shinto K, Ishimoto Y, Nagata K, Teraguchi M, Kagotani R, Muraki S, Akune T, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshida M: The Association between the Cross-Sectional Area of the Dural Sac and Low Back Pain in a Large Population: The Wakayama Spine Study, *PLoS ONE* 11(8): e0160002. doi:10.1371/journal.pone.0160002
53. Sonekatsu M, Taniguchi W, Yamanaka M, Nishio N, Tsutsui S, Yamada H, Yoshida M, Nakatsuka T: Interferon-gamma potentiates NMDA receptor signaling in spinal dorsal horn neurons via microglia-neuron interaction. *Molecular Pain* 12: 1-10, 2016
54. 玉井 英伸、麻殖生 和博、安藤 宗治、峠 康、坂田 亮介、福井 大輔、佐々木 俊二、松本 卓二：強直性脊椎骨増殖症に伴う脊椎骨折に対する低侵襲手術. 和歌山医学 67(1):22-23,2016
55. 村上公英、山田 宏、筒井俊二、岩崎 博、岩橋弘樹、宇野耕吉、吉田宗人：前方・後方同時矯正手術を実施した先天性後弯症の1例. 臨床整形外科 Vol.51 No6, 2016
56. 村上公英、山田 宏、橋本忠晃、岡田基宏、中村憲太、中谷如希、吉田宗人：高度骨破壊を呈した compromised host の腰椎化膿性脊椎炎に対して最小侵襲脊椎安定術(MIST)とテリパラチドの投与が有効であった1例. 臨床整形外科 Vol51 No8, 2016

57. Deguchi T: Efficacy and Safety of High Frequency Electrical Multi-train Stimulation for Recording Transcranial Motor Evoked Potentials in Rats. *clinical neurophysiology*, August, 2016.
58. 山屋誠司, 高橋伸光, 菅野晴夫, 野村和教, 中村聡, 中村陽介, 小澤浩司, 井樋栄二, 吉田宗人. 腰部脊柱管狭窄症における3D Fusion Imageの作成時間に影響する因子の検討. *J Spine Res* 7:1256-1260.2016
59. Kodama R, Muraki S, Oka H, Iidaka T, Teraguchi M, Kagotani R, Asai Y, Yoshida M, Morizaki Y, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshimura N.: Prevalence of hand osteoarthritis and its relationship to hand pain and grip strength in Japan: The third survey of the ROAD study. *Mod Rheumatol*. 2016 Sep;26(5):767-73. (2016)
60. Nakashima H, Yukawa Y, Suda K, Yamagata M, Ueta T, Kato F. Relatively Large Cervical Spinal Cord for Spinal Canal is a Risk factor for Development of Cervical Spinal Cord Compression: A Cross-Sectional Study of 1,211 Subjects. *Spine (Phila Pa 1976)*. 2016 Mar;41(6):E342-8.
61. Machino M, Yukawa Y, Imagama S, Ito K, Katayama Y, Matsumoto T, Inoue T, Ouchida J, Tomita K, Ishiguro N, Kato F. Age-Related and degenerative Changes in the Osseous Anatomy, Alignment, and Range of Motion of the cervical Spine: A Comparative Study of Radiographic Data From 1016 Patients With Cervical Spondylotic Myelopathy and 1230 Asymptomatic Subjects. *Spine (Phila Pa 1976)*. 2016 Mar;41(6):476-82.
62. Machino M, Yukawa Y, Imagama S, Ito K, Katayama Y, Matsumoto T, Inoue T, Ouchida J, Tomita K, Ishiguro N, Kato F. Surgical Treatment Assessment of Cervical Laminoplasty Using Quantitative Performance Evaluation in Elderly Patients: A Prospective Comparative Study in 505 Patients with Cervical Spondylotic Myelopathy. *Spine (Phila Pa 1976)*. 2016 May;41(9):757-63.
63. Ouchida J, Yukawa Y, Ito K, Katayama Y, Matsumoto T, Machino M, Inoue T, Tomita K, Kato F. Delayed Magnetic Resonance Imaging in Patients with Cervical Spinal Cord Injury without Radiographic Abnormality. *Spine (Phila Pa 1976)*. 2016 Aug 15;41(16):E981-6.
64. Nakashima H, Tetreault L, Nagoshi N, Nouri A, Arnold P, Yukawa Y, Toyone T, Tanaka M, Zhou Q, Fehlings MG. Comparison of Outcomes of Surgical Treatment for Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament Versus Other Forms of Degenerative Cervical Myelopathy: Results from the Prospective, Multicenter AOSpine CSM-International Study of 479 Patients. *J Bone Joint Surg Am*. 2016 Mar 2;98 (5):370-8.
65. Hida T, Yukawa Y, Ito K, Machino M, Imagama S, Ishiguro N, Kato F. Intrathecal morphine for postoperative pain control after laminoplasty in patients with cervical spondylotic myelopathy. *J Orthop Sci*. 2016 Jul;21(4):425-30.
66. Nakashima H, Yukawa Y, Suda K, Yamagata M, Ueta T, Kato F. Narrow cervical canal in 1211 asymptomatic healthy subjects: the relationship with spinal cord compression on MRI. *Eur Spine J*. 2016 Jul;25(7):2149-54.
67. Nakashima H, Imagama S, Matsui H, Yukawa Y, Sato K, Kanemura T, Kamiya M, Ito K, Matsuyama Y, Ishiguro N, Kato F. Comparative Study of Untethering and Spine-Shortening Surgery for Tethered Cord Syndrome in Adults. *Global Spine J*. 2016 Sep;6(6):535-41.
68. Ito Z, Matsuyama Y, Ando M, Kawabata S, Kanchiku T, Kida K, Fujiwara Y, Yamada K, Yamamoto N, Kobayashi S, Saito T, Wada K, Satomi K, Shinomiya K, Tani T. What Is the Best Multimodality Combination for Intraoperative Spinal Cord Monitoring of Motor Function? A Multicenter Study by the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research. *Global Spine J*. 2016; 6: 234-241.
69. Ito Z, Matsuyama Y, Ando M, Kawabata S, Kanchiku T, Kida K, Fujiwara Y, Yamada K, Yamamoto N, Kobayashi S, Saito T, Wada K, Tadokoro N, Takahashi M, Satomi K, Shinomiya K, Tani T. Postoperative Paralysis from Thoracic Ossification of Posterior Longitudinal Ligament (OPLL) Surgery-Risk factor of Neurologic Injury: Nationwide Multi-Institution Survey. *Spine (Phila Pa 1976)*. 2016 Oct 1; 41(19) : E1159 -E1163.

70. Fujiwara Y, Matsuyama Y, Kobayashi S, Ito Z, Saito T, Kawabata S, Kanchiku T, Kida K, Yamada K, Wada K, Takahashi M, Yamamoto N, Ando M, Shinomiya K, Satomi K, Tani T. Two Stage Alarm Strategy for Intramedullary spinal Cord Tumors Based on the Transcranial Electrically Stimulated Muscle Evoked Potential Monitoring : The JSSR Prospective Multi-Center Study. *J Spine Res.* 2016; 7:1343-1351.
71. Nakamura M, Kobashi Y, Hashizume H, Oka H, Kono R, Nomura S, Maeno A, Yoshida M, Utsunomiya H: Locomotive syndrome is associated with body composition and cardiometabolic disorders in elderly Japanese women. *BMC Geriatrics* 16:166, 2016
72. 木村 友香子, 松本 卓二: リハ栄養でフレイル予防効果 大腿骨近位部骨折および脊椎椎体骨折における栄養飲料の効能. *日本静脈経腸栄養学会雑誌* 31(1):532,2016
73. Samartzis D, Cheung JP, Rajasekaran S, Kawaguchi Y, Acharya S, Kawakami M, Satoh C, Chen WJ, Park CK, Lee CS, Foocharoen T, Nagashima H, Kuh S, Zheng Z, Condor R, Ito M, Iwasaki M, Jeong JH, Luk KD, Prijambodo B, Rege A, Jahng TA, Luo Z, Tassanawipas W, Acharya N, Pokharel R, Shen Y, Ito T, Zhang Z, Aithala PJ, Kumar GV, Jabir RA, Basu, Baojun S LiB, Moudgil V, Goss B, Sham P, Williams R : Critical values of facet joint angulation and tropism in the development of lumbar degenerative spondylolisthesis: An international, large-scale multicenter study by the AOSpine Asia Pacific Research Collaboration Consortium : *Global Spine J* 6: 414-421, 2016.
74. Williams R, Cheung JP, Goss B, Rajasekaran S, Kawaguchi Y, Acharya S, Kawakami M, Satoh S, Chen WJ, Park CK, Lee CS, Foocharoen T, Nagashima H, Kuh S, Zheng Z, Condor R, Ito M, Iwasaki M, Jeong JH, Luk KD, Prijambodo B, Rege A, Jahng TA, Luo Z, Tassanawipas W, Acharya N, Pokharel R, Shen Y, Ito T, Zhang Z, Aithala P J, Kumar GV, Jabir RA, Basu S, Li B, Moudgil V, Sham P, Samartzis D : An international multi-center study assessing the role of ethnicity upon variation of lumbar facet joint orientation and the occurrence of degenerative spondylolisthesis in Asia Pacific : *Global Spine Journal*, 6: 35-45, 2016.
75. Samartzis D, Cheung JP, Rajasekaran S, Kawaguchi Y, Acharya S, Kawakami M, Satoh S, Chen WJ, Park CK, Lee CS, Foocharoen T, Nagashima H, Kuh S, Zheng Z, Condor R, Ito M, Iwasaki M, Jeong JH, Luk KD, Prijambodo B, Rege A, Jahng TA, Luo Z, Tassanawipas WA, Acharya N, Pokharel R, Shen Y, Ito T, Zhang Z, Aithala P J, Kumar GV, Jabir RA, Basu S, Li B, Moudgil V, Goss B, Sham P, Williams R : Is lumbar facet joint tropism velopmental or secondary to degeneration? An international, large-scale multicenter study by the AOSpine Asia Pacific Research Collaboration Consortium : *Scoliosis and Spinal Disorders* (2016) 11:9 DOI 10.1186/s13013-016-0062-2
76. Minetama M, Miyake T, Moriki T, Sakon N, Kitagawa T, Matsuoka T, Nakao S, Fukui D, Kawakami M : Multimodal assessments of effectiveness of physical therapy for patients with lumbar spinal stenosis : *Jacobs Journal of Physiotherapy and Exercise* 2 (1),016, 2016. Online Journal
77. 森下詔子, 北川智子, 峯玉賢和, 石元優々, 長田圭司, 川上 守 : 腰背部痛を伴う新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する活動性維持療法 : 中部整災誌
78. 宮城正行, 内田健太郎, 井上 玄, 大鳥精司, 石川哲大, 鴨田博人, 佐久間詳造, 西能 健, 川上 守, 高橋和久, 高相晶士 : 非特異的慢性腰痛の発生源である椎間板由来腰痛機序に関する検討 : *J Spine Research* 7(3):190, 2016.
79. 田倉智之, 山下敏彦, 吉田宗人, 松山幸弘, 高橋和久, 伊東 学, 今釜史郎, 井上 玄, 川上 守, 種市 洋, 西田憲太郎, 波呂浩孝, 宮腰尚久, 米延策雄, 海渡貴司, 持田讓治 : 慢性腰痛症に対する薬物療法の費用対効果 : *J Spine Research* 7(3):442, 2016.
80. 山下敏彦, 吉田宗人, 松山幸弘, 高橋和久, 伊東 学, 今釜史郎, 井上 玄, 川上 守, 種市 洋, 西田憲太郎, 波呂浩孝, 宮腰尚久, 海渡貴司, 田倉智之, 米延策雄, 持田讓治 : 慢性腰痛症の薬物療法に患者背景が及ぼす影響 : *J Spine Research* 7(3):443, 2016.

81. 海渡貴司、山下敏彦、吉田宗人、松山幸弘、高橋和久、伊東 学、今釜史郎、井上 玄、川上 守、種市 洋、西田憲太郎、波呂浩孝、宮腰尚久、田倉智之、米延策雄、持田讓治：慢性腰痛症に対する薬物療法の臨床評価：J Spine Research 7(3):443, 2016.
82. 峯玉賢和、川上 守、石元優々、長田圭司、北川智子、隅谷 政、成川 臨、山本義男、中川雅文、左近奈菜、原田健史、堀 晋之助、松岡淑子：腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法後、手術に至った症例と至らなかった症例の予後—2 年間の前向き研究：J Spine Research 7(3):682, 2016.
83. 折田純久、大鳥精司、山下敏彦、米延策雄、川上 守、田口敏彦、菊地臣一、牛田享宏、紺野慎一、中村雅也、高橋和久：脊椎疾患における神経障害性疼痛の特徴—脊椎関連慢性疼痛患者における神経障害性疼痛有病率調査サブ解析より：日整会誌 90 (3):S899,2016.
84. Orita S, Yamashita T, Ohtori S, Yonenobu K, Kawakami M, Taguchi T, Kikuchi S, Ushida T, Konno S, Nakamura M, Fujino K, Matsuda S, Yone , Takahashi K. : Prevalence and location of neuropathic pain in lumbar spinal disorders: analysis of 1,804 consecutive patients with primary lower back pain Spine 41(15):1224-31, 2016.
85. 中川雅文、川上 守、長田圭司、石元優々、峯玉賢和、北川智子：健常者の頸部愁訴と矢状面脊椎骨盤アライメントの関係：中部整災誌

#### その他の論文（症例報告等）

1. 川上 守：他科への手紙 脊椎外科——神経内科・精神科・リハビリテーション科：日本医事新報 4810:47,2016.
2. 川上 守、川真田樹人、山下敏彦：座談会 脊椎手術後疼痛症候群：Prectice of Pain Management 7(1):4-12, 2016.
3. 橋爪 洋：診療の秘訣 骨粗鬆症性椎体骨折を見逃さないために. Modern Physician 36: 802、2016
4. 石元優々 川上守：地域住民における腰痛と膝痛・腰部脊柱管狭窄症の有病率とその関係について—かつらぎ study—。オステオポロシスジャパンプラス創刊号 No.1 2016 第 10 回リリー研究助成成果報告
5. 石元優々、川上 守、中尾慎一、松岡淑子、安岡弘直、長田圭司：高齢者に発生した Endodermal Cyst の 1 例：雑誌 臨床整形外科 51(5):481-485,2016.
6. Nagata K, Hashizume H, Yamada H, Yoshida M: Long-term survival case of malignant glomus tumor mimicking "dumbbell-shaped" neurogenic tumor. Eur Spine J 2016. [Epub ahead of print]
7. 中村憲太、西山大介、山崎 悟、岡田紗枝、曾根勝真弓、原田悌志、山川量平、松崎交作：人工股関節置換術後における深部静脈血栓症の効果的なスクリーニング. 日本人工関節学会

#### 依頼原稿

1. 中根康博：腱板断裂手術における Speed Bridge 法の有用性. Arthrex 社が発行する手術手技ペーパー「Clinical Report」の依頼で執筆 2016.12 月 発刊

#### 学会報告

##### a) 国際学会

1. Yoshida M: Operative Video Sessions: Posterior cervical decompression technique. SPINE WEEK2016 Marina Bay Sands, Singapore, May 18-20(2016)
2. Yoshida M: Microendoscopic Decompression Surgery for Cervical Myelopathy and Radiculopathy 5th World Congress of Minimally Invasive Spine Surgery & Techniques, International Convention Center Jeju, Jeju, Korea, June 1-3 (2016)
3. Yoshida M: 脊椎内視鏡手術の進歩—5000 例以上の経験からみた診断と手技上の工夫—. 2016 2nd Beijing international integrated traditional Chinese and western medicine Minimum Invasive Spine Surgery Forum Program, Poly Plaza Hotel Beijing, Beijing, China, July 15-16 (2016)



4. Kawakami M, Ishimoto Y, Nagata K, Kitagawa T, Matsuoka T : A Comparative Study of Axial Pain in Cervical Myelopathy Patients Treated with Laminoplasty and Healthy Volunteers. ISASS16, Las Vegas, Nevada, April 6 - 8, 2016
5. Kawakami M., Ishimoto Y., Nagata K., Kitagawa T., Minetama M., Nakagawa Y. Fukui D : Preoperative psychological factors affect surgical satisfaction in elderly patients with lumbar spinal stenosis. Spine Week 2016, The International Society for the Study of the Lumbar Spine, Singapore, May 16 - 20, 2016
6. Kawakami M., Ishimoto Y., Nagata K., Kitagawa T., Matsuoka T : A comparative study of axial pain in cervical myelopathy patients treated with laminoplasty and healthy volunteers. Spine Week 2016, The International Society for the Advancement of Spine Surgery, Singapore, May 16 - 20, 2016
7. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Masanari T, Nakao S, Kagotani R: Comparison of minimally invasive V.S. open posterior procedure combined with XLIF in adult spinal deformity in the elderly. 16th annual conference, The international society for advancement of spine surgery, April 6-8, Las Vegas, USA, 2016
8. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakao S, Kagotani R: Comparison of minimally invasive V.S. traditional open posterior procedure combined with XLIF in the treatment of low back pain due to adult spinal deformity in the elderly. International society for study of lumbar spine, 43th annual meeting, May 18-20, Singapore, 2016.
9. Hashizume H, Yamada H, Oka H, Teraguchi M, Iwahashi H, Sasaki T, Shinto K, Muraki S, Matsudaira K, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshimura N, Yoshida M: Paravertebral muscle degeneration is the most significant associated factor for the sagittal imbalance –The Wakayama Spine Study. International Society for Study of Lumbar Spine (ISSLS) at SpineWeek 2016. 2016. 5. Singapore
10. Hashizume H, Yamada H, Oka H, Teraguchi M, Iwahashi H, Sasaki T, Shinto K, Muraki S, Matsudaira K, Minamide A, Nakagawa Y, Yoshimura N, Yoshida M: Aging change of the paravertebral muscles and psoas muscles of the lumbar spine and relation to the low back pain in a general population –The Wakayama Spine Study. Asia Pacific Spine Society (APSS) at SpineWeek 2016. 2016. 5. Singapore
11. Yukawa Y Reconstructive surgery for CSM with kyphosis. 14th Annual meeting of Taiwan Spine Society, Taipei, March 19, 2016
12. Yukawa Y Double-door laminoplasty with spinous process as spacer –A experience of over 2000 cases– 2016 Sino-Japan symposium on new technologies of cervical spine surgeries, Peking University Shenzhen Hospital, Shenzhen, China, August 6, 2016
13. Yukawa Y, Kato F. Normative data for parameters of sagittal spinal alignment in healthy subjects – An analysis of gender specific differences and changes with aging in 626 asymptomatic individuals – 2016 ICORS (International combined Orthopaedic Research Society) meeting, Sep 21-25, 2016, Xian, China
14. Yukawa Y Surgical Choice for thoracolumbar injury - Anterior or posterior? - 2nd Himalayan Spine Symposium and Annual Conference of ASSN, Kathmandu, Nepal, Oct 6-8, 2016
15. Yukawa Y Cervical pedicle screw technique for reconstruction of cervical spine. 60th Anniversary congress of Korean Orthopaedic Association (KOA), Incheon, Korea, Oct 19, 2016
16. Yukawa Y A new thoracic reconstruction technique “Transforaminal Thoracic Interbody Fusion (TTIF). 60th Anniversary congress of Korean Orthopaedic Association (KOA), Incheon, Korea, Oct 19, 2016
17. Minamide A, Yoshida M, Iwahashi H, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Okada M, Nakao S. Does the local kyphosis affect surgical outcomes of microendoscopic laminotomy for cervical spondylotic myelopathy?. 7th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, Seoul, Korea, 2016.4.21-23.
18. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Okada M, Nakao S. Spinal restabilization of lumbar degenerative spondylolisthesis associated with spinal instability following minimally invasive spinal decompression surgery. 44th The International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting, Spine Week, Singapore, 2016. 5. 16-20.

19. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Oka H. Efficacy of posterior segmental decompression surgery for pincer mechanism in cervical spondylotic myelopathy: A retrospective case-control study using propensity score matching. Society for Minimally Invasive Spine Surgery (SMISS), Spine Week, Singapore, 2016. 5. 16-20.
20. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakao S, Kagotani R. Spinal restabilization of lumbar degenerative spondylolisthesis associated with spinal instability following minimally invasive spinal decompression surgery. Annual meeting of EUROSPINE 2016, Berlin, Germany, 2016. 10. 5-7.
21. Minamide A: 【座長】 Podium session Topic 「Anterior Surgery 1」 7th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, Seoul, Korea, 2016.4.21-23.
22. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakao S : Clinical results and utility of eXtreme lateral interbody fusion system for revision spine surgery. Society for Minimally Invasive Spine Surgery (SMISS) global forum 2016, October 13-15, 2016, Las Vegas, USA
23. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakao S, Yukawa Y : Microendoscopic surgery for cervical spondylotic amyotrophy. Society for Minimally Invasive Spine Surgery (SMISS) global forum 2016, October 13-15, 2016, Las Vegas, USA
24. Minami S, Kinoshita H, Kubota S, Sando S : Femoral neck insufficiency fracture after a subtrochanteric femur fracture that was treated with an intramedullary nail: A case report. 18th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology, 2016.9, China
25. Nakane Y: Clinical Results of Arthroscopic assisted Reconstruction using Arthrex Dog Bone Button for Acromio-clavicular joint Dislocation. 2016 Summit of Asia-Pacific Knee, Arthroscopy and Sports Medicine Society 2016.6.10 Hong Kong
26. Enyo Y, Yoshimura N, Yamada H, Hashizume H, Yoshida M : Radiographic natural course of lumbar degenerative spondylolisthesis and its risk factors related to the progression and onset in a 15-year community-based cohort study: the Miyama study. Spine Week, 2016.5, poster presentation, Singapore
27. Nakao S, Yoshida M et al. A study of the reproducibility of intraoperative image in microendoscopic-spine-surgery simulator. Orthopaedic Research Society (ORS) 2016 Annual Meeting. March 5-8, 2016, Orlando, Florida, U.S.A.
28. Taniguchi W, Yamanaka M, Sonekatsu M, Nishio N, Tsutsui S, Nishi H, Hashizume H, Yamada H, Nakatsuka T, Yoshida M. In Vivo Patch-clamp Analysis Of Descending Facilitation Of Excitatory Transmission In The Spinal Dorsal Horn By The Anterior Cingulate Cortex Activation. Orthopedic Research Society 2016 Annual meeting 2016.3.1-3.5, Orlando
29. Taniguchi W, Sonekatsu M, Nishio N, Yamanaka M, Tsutsui S, Nishi H, Nakatsuka T, Yoshida M. In Vivo Patch-clamp of Knee Osteoarthritis Pain by Activation of TRPV1. International Association for the Study of Pain 16th World Congress on Pain, 2016. 9. 28, Yokohama
30. Ishimoto Y, Kawakami M, Nakao S, Nagata K, Kitagawa T, Matsuoka T, Yamada H : Surgical outcomes of pedicle screw with cortical bone trajectory compared with conventional trajectory for patients with lumbar spinal stenosis . ISSAS 2016.4.6-8 in Las Vegas, poster presentation
31. Fukui D, Matsumoto T, Naiki M, Masuda K, Kawakami M : Psychological Stress Enhances Gait Disturbance and Allodynia Induced by Lumbar Facetomy in the Rat. Orthopaedics Research Society, Orlando, 2016.3.5-3.8
32. Fukui D, Kawakami M, Matsumoto T, Naiki M: Psychological stress results in mechanical allodynia, but not in low back pain in the rat. International Society for the Study of the Lumbar Spine, Singapore, 2016.5.16-5.20
33. Shimoe T, Doi K, Hattori Y, Sakamoto S: Analysis of Shoulder Abduction by Dynamic Radiograph following Suprascapular Nerve Repair in Brachial Plexus Injury. 3rd Asian-Pacific Federation of Societies for Reconstructive Microsurgery, 2016.6.3. China
34. Kagotani R, Yoshida M, Muraki S, Oka H, Hashizume H, Yamada H, Tsutsui S, Akune T, Yoshimura N: Sagittal Spinal Alignment and Balance in Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis: A Population based Cohort Study. Annual Meeting of American Academy of Orthopedic Surgeons (AAOS), 2016.3. Orlando, Florida, USA

35. Teraguchi M, Samartzis D, Hashizume H, Yamada H, Muraki S, Oka H, Cheung J, Yoshimura N, Cheung K, Yoshida M : Novel Classification and Risk Factors of High Intensity Zones of the Lumbar Spine: the Wakayama Spine Study. International society for study of lumbar spine, 43th annual meeting 2016 4, Singapore
36. Teraguchi M, Yoshimura N, Hashizume H, Muraki S, Yamada H, Oka H, Minamide A, Nagata K, Ishimoto Y, Kagotani R, Yoshida M: Diabetes mellitus is a significant risk factor for lumbar disc degeneration in a longitudinal population- based cohort: the Wakayama Spine Study. International society for study of lumbar spine, 43th annual meeting 2016 4, Singapore
37. Iwahashi H, Yoshimura N, Hashizume H, Yamada H, Oka H, Yoshida M: The association between the cross-sectional area of the dural sac and low back pain in a large population: The Wakayama Spine Study, Relationship between bony spinal canal stenosis and the prevalence of clinical symptoms of lumbar spinal stenosis –The Wakayama Spine Study, ISSLS Annual Meeting, 2016.5, Singapore
38. Sonekatsu M, Taniguchi W, Yamanaka M, Nishio N, Tsutsui S, Nishi H, Hashizume H, Yamada H, Nakatsuka T, Yoshida M: The role of NMDA receptor activation by IFN $\gamma$  in the spinal dorsal horn neurons. Orthopaedic Research Society 2016 Annual Meeting, 2016.3, Orlando
39. Sonekatsu M, Taniguchi W, Nishio N, Tsutsui S, Nishi H, Hashizume H, Yamada H, Nakatsuka T, Yoshida M: Interferon- $\gamma$  increases the NMDA-induced inward current in spinal dorsal horn neurons via CCL2/CCR2 signaling. International Association for the Study of Pain 16th World Congress on Pain, 2016.9, Yokohama
40. Nishio N, Taniguchi W, Sonekatsu M, Yamanaka M, Tsutsui S, Nishi H, Yoshida M, Nakatsuka T : Patch-clamp analysis of reactive oxygen species actions on excitatory synaptic transmission in spinal substantia gelatinosa neurons. 16th World Congress on Pain (IASP), 2016. 9, Yokohama
41. Yamada K, Satoh S, Hashizume H, Abe Y, Terai H, Nakamura H, Yoshimura N, Muraki S, Yoshida M: The impact of diffuse idiopathic skeletal hyperostosis for symptomatic lumbar spinal stenosis. EuroSpine 2016, 2016.10. Berlin
42. Orita S., Yamashita T., Ohtori S., Yonenobu K., Kawakami M., Taguchi T., Kikuchi S.I., Ushida T., Konno S.I., akamura M., Fujino K., Matsuda S., Yone K., Takahashi K : Prevalence and location of neuropathic pain in lumbar spinal disorders: Analysis of 1,804 consecutive patients with primary lower back pain. Spine Week 2016, The International Society for the Study of the Lumbar Spine, Singapore, May 16 - 20, 2016
43. Minetama M, Kawakami M, Ishimoto Y, Nagata K, Kitagawa T, Sumiya T, Narikawa N, Yamamoto Y, Nakagawa M, Sakon N, Matsuoka T : Two-year follow-up of surgical therapy versus untreated observation for patients with intermittent claudication due to lumbar spinal stenosis after physical therapy. 9th Interdisciplinary World Congress on Low Back & Pelvic Girdle Pain Singapore, October 31- November 3, 2016

b) シンポジウム, 学術講演等

1. 吉田宗人：脊椎内視鏡視下手術の最先端 第5回泉州まんだらげ会学術講演会 ステージホテル関西エポート, 大阪府泉南市 (2016.1)
2. 吉田宗人：脊椎内視鏡視下手術の最先端 Spine Forum Mie2016 ベイシスカ, 三重県津市 (2016.3)
3. 吉田宗人：頸椎定性脊髄症に対する内視鏡下手術の実際—パラディシスは起こせるのか— 第35回岩手脊椎脊髄外科懇話会 ホテルメトロポリタン盛岡, 盛岡市 (2016.3)
4. 吉田宗人：脊柱靭帯骨化症の病態とその治療の最前線 紀の国 OSL 友の会 結成 1周年記念講演会 和歌山県民分会会館 和歌山市 (2016.4)
5. 吉田宗人：脊椎内視鏡視下手術の最先端 大阪医科大学麻酔科同門会学術集談会, 大阪医科大学 大阪府高槻市 (2016.4)
6. 吉田宗人：神経根症を伴う腰椎変性側彎症に対する手術治療—内視鏡下除圧術の立場から— 第89回日本整形外科学会学術総会, パシフィコ横浜 神奈川県横浜 (2016.5)

7. 吉田宗人：脊柱管狭窄症—疫学的研究と内視鏡下手術— 山口大学整形外科学教室講演会 徳山中央病院 山口市 (2016.5)
8. 吉田宗人：脊椎脊髄の疫学研究から見た常識との違いと臨床的意義 西新宿整形外科研究会サマーセミナー2016 京王プラザホテル 東京都 (2016.7)
9. 吉田宗人：脊椎脊髄の疫学研究から見た常識との違いと臨床的意義 第42回日本整形外科学スポーツ医学会 札幌コンベンションセンター 札幌市 (2016.9)
10. 吉田宗人：MEDの応用編 —脊柱管狭窄症、椎間孔狭窄に対するテクニック— 第65回東日本整形災害外科学会 ザ・プリンス箱根芦ノ湖 神奈川県箱根市 (2016.9)
11. 吉田宗人：頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下手術の実際—パラパラは起こせるのか— 第22回整形外科アップデートセミナー ホテル椿山荘東京 東京都 (2016.10)
12. 吉田宗人, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 中尾慎一, 吉兼浩一, 酒井紀典：腰椎模型を用いた脊椎後方内視鏡手術実習. 第7回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー (2016.6)
13. 川上 守：非特異的腰痛の疼痛機序解明とその治療. 日本臓器製薬 生物活性科学研究所講演会, 2016.2 神戸
14. 川上 守, 石元優々, 長田圭司, 森下詔子, 中川雅文：なつたら怖い骨粗鬆症. 紀北健康講座講演, 2016.2 和歌山
15. 山田 宏 椎間孔狭窄症に対する内視鏡下手術 第24回日本内視鏡外科学会総会, 2016.12.10 横浜市
16. 山田 宏 脊椎手術に対するテリパラチドの治療効果 —文献レビューと当院における使用経験—和歌山県医師会整形外科部会講演会 骨粗鬆症セミナー, 2016.1.28 和歌山市
17. 山田 宏 The Wakayama Spine Study 脊椎脊髄疾患の疫学 千葉腰痛フォーラム, 2016.2.3 千葉市
18. Yamada H: Lumbar XLIF Surgical Technique & Clinical Overview (Part 1)Lumbar XLIF Surgical Technique & Clinical Overview (Part2), Degenerative Lumbar Disease MVP Course, March 29, 2016, La Jolla, CA, USA
19. Yamada H: Thoracolumbar XLIF Clinical Overview, Degenerative Lumbar Disease MVP Course, March 30, 2016 La Jolla, CA, USA
20. 山田 宏 内視鏡低侵襲手術・総論 脊椎内視鏡手術コース 幕張メッセ国際会議場, 2016.4.16 幕張市
21. 山田 宏 和歌の浦セミナー XLIF 手術の安全性と周術期合併症, 2016.6.17 和歌山市
22. 山田 宏 Meet the Specialist in 田辺日常診療でみられる運動器疼痛に対する治療, 2016.6.30 田辺市
23. 山田 宏 秋田県腰痛フォーラム 腰椎疾患の疫学 —The Wakayama Spine Study—, 2016.8.16 秋田市
24. 山田 宏 腰部脊柱管狭窄症の腰痛を再考する. The 4th Hokkaido Association of Spine surgeons with Ambition : HASA, 2016.8.27 札幌市
25. 山田 宏 成人脊柱変形に対する short fusion の試み The 4th Hokkaido Association of Spine surgeons with Ambition : HASA, 2016.8.27 札幌市
26. 山田 宏 MEDの現状と未来への展望 第65回東日本整形災害外科学会, 2016.9.23 箱根市
27. 山田 宏 かかりつけ医師のための腰痛診療セミナー, 2016.10.8 和歌山市
28. 山田 宏 XLIF technical tips—われわれの工夫— 関西 MIST 研究会, 2016.11.5 大阪市
29. 山田 宏 脊椎脊髄疾患におけるテリパラチド使用経験, 2016.12.21 和歌山市
30. 安藤宗治. 2015年文献レビュー：整形外科における術中モニタリング. 第46回日本臨床神経生理学会, 2016.10 郡山市
31. 橋爪 洋：腰痛症の薬物治療 痛みのメカニズムに基づく治療戦略. 第29回日本臨床整形外科学会学術集会モーニングセミナー. 2016.7. 札幌市
32. 橋爪 洋整形外科医から見た慢性腰痛症に対する治療戦略. Chronic Low Back Pain Expo 2016 in Osaka. 2016.9. 大阪市
33. 橋爪 洋, 吉村典子, 山田 宏, 岡 敬之, 寺口真年, 岩橋弘樹, 佐々木貴英, 村木重之, 松平 浩, 阿久根徹, 川口 浩, 中村耕三, 南出 晃人, 中川幸洋, 吉田宗人：腰椎単純MRI 上の加齢変性所見は腰痛の原因か?—The Wakayama Spine Study. 第45回日本脊椎脊髄病学会学術集会シンポジウム1 非特異的腰痛の基礎と臨床, 2016.4. 千葉市

34. 橋爪 洋、吉村典子、山田 宏、岡 敬之、寺口真年、岩橋弘樹、浅井宣樹、佐々木貴英、村木重之、松平 浩、籠谷良平、筒井俊二、岩崎博、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人：傍脊柱筋変性は脊柱バランス不良の最大関連要因である-The Wakayama Spine Study. 第45回日本脊椎脊髄病学会学術集会シンポジウム3 脊椎矢状面アライメントの異常とその矯正、2016.4. 千葉市
35. 橋爪洋. ロコモの原因と運動の効果について. 高齢者運動器疾患予防対策事業講演会、2016.1. 橋本市
36. 橋爪洋. 自分の足で歩き続けるために-今日から始めるロコモ対策. 高齢者運動器疾患予防対策事業講演会、2016.1. 日高川町川辺地区、2016.3. 日高川町川辺地区、2016.3. みなべ町
37. 橋爪洋. ロコモティブシンドロームの診断と予防-up to date. 平成27年度高齢者運動器疾患予防対策事業市町村担当者研修会、2016.2. 田辺市
38. 橋爪洋. 慢性疼痛の薬物療法に関する最近の話題. Wakayama Chronic Pain Management Forum 一般講演、2016.3.和歌山市
39. 橋爪洋. 慢性腰痛の薬物療法に関する最近の話題. 大阪府社保・国保審査委員学術講演会、2016.7. 大阪市
40. 橋爪洋. 腰痛症の薬物療法-痛みのメカニズムに基づく治療戦略. 御坊地区慢性腰痛セミナー2016、2016.9. 御坊市
41. 橋爪洋. 慢性腰痛の薬物療法に関する最新の話. 舞鶴医師会学術講演会、2016.9. 舞鶴市
42. 橋爪洋. 腰痛症の薬物療法：痛みのメカニズムに基づく治療戦略. Wakayama Chronic Low Back Pain Forum 2016、2016.9. 和歌山市
43. 橋爪洋. 腰痛症の薬物療法-痛みのメカニズムに基づく治療戦略. KOBE PAIN/OSTEOPOROSIS FORUM 2016、2016.9. 神戸市
44. 橋爪洋. 整形外科医から見た慢性腰痛症に対する治療戦略. Chronic Low Back Pain Expo 2016 in Osaka、2016.9. 大阪市
45. 橋爪洋. 腰痛症の薬物療法-痛みのメカニズムに基づく治療戦略. 新宮・勝浦地区腰痛治療を考える会、2016.10. 新宮市
46. 橋爪洋. ロコモとサルコペニアについて. 市民公開講座『運動器の10年・骨と関節の日』記念行事-健康寿命の延長を目指して-、2016.10. 和歌山市
47. 橋爪洋. 腰痛症の薬物療法-痛みのメカニズムに基づく治療戦略. Tanabe CLBP Forum 2016、2016.10. 田辺市
48. 橋爪洋. 腰痛症の薬物療法-痛みのメカニズムに基づく治療戦略. 有田地区慢性腰痛セミナー、2016.11. 有田市
49. 橋爪洋. 慢性腰痛の薬物療法に関する最新の話. 福知山・綾部医師会学術講演会、2016.11.福知山市
50. 橋爪洋. 慢性腰痛診療における薬物療法の位置づけとデュロキセチン使用のポイント-作用機序、エビデンス、臨床経験にもとづく提案. Lilly Cymbalta Web Conference 2016、2016.11.
51. 橋爪洋. 慢性腰痛診療における薬物選択とデュロキセチン使用のポイント. シオノギ・リリーWEB講演会、2016.12.
52. 橋爪洋. 整形外科医から見た慢性腰痛症に対する治療戦略. 阪神慢性腰痛を考える会、2016.12. 西宮市
53. 湯川泰紹、加藤文彦、吉田宗人 健康者1211名の頸椎MRI画像から得られたもの(シンポジウム) 第89回日本整形外科学会学術集会、2016.5.12-15、横浜
54. 南出晃人、吉田宗人、山田 宏、橋爪 洋、中川幸洋、岩崎博：脊椎低侵襲手術 -どこまで低侵襲にできるか。頸椎疾患に対する内視鏡下除圧術の適応とその臨床成績. 第126回中部日本整形外科・災害外科学会学術集会、浜松市、2016.4.8-9.
55. 南出晃人、吉田宗人、山田 宏、橋爪 洋、湯川泰紹、中川幸洋、岩崎 博、筒井俊二、高見正成、中尾真一：低侵襲脊椎外科と教育の現状と近未来展望 - 和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナーにおける低侵襲手術の教育. 第19回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会、東京、2016.11.24-25.
56. 南出晃人、吉田宗人：脊椎内視鏡外科の現状 - 頸椎疾患に対する内視鏡下除圧術の適応とその臨床成績. 第29回日本内視鏡外科学会学術集会、横浜市、2016.12.8-10.
57. 南出晃人：頸椎変性疾患に対する内視鏡下除圧術の適応と有用性. 第7回和歌の浦低侵襲頸椎外科セミナー、和歌山市、2016.6.17-18.
58. 南出晃人：脊椎疾患に対する脊椎低侵襲手術からの治療概念の変化. 第291回大阪臨床整形外科医会研修会、大阪市、2016.11.26.
59. 中川幸洋：MEL(内視鏡椎弓切除)の実際、合併症予防の手技. 第14回脊椎脊髄病研修コース 2015.4.16、幕張
60. 中川幸洋：骨粗鬆症関連脊椎骨折の治療. 和歌山県医師会整形外科部会学術講演会 -骨粗鬆症セミナー2016-、2016.6.9、和歌山市
61. 中川幸洋：脊椎内視鏡手術の基本手技 腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下ヘルニア摘出術(MED)-手術手技の基本とポイント. 第7回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2016.6.18 和歌山市

62. 岩崎 博:腰部脊柱管狭窄症(椎間孔部狭窄を含む)に対する内視鏡下除圧術の手術手技. 第7回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー, 2016.6. 和歌山
63. 神埜聖治:骨軟部腫瘍診療の実際. 和歌山臨床整形外科医会, 2016.3, 和歌山
64. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、高橋雅人、伊藤全哉、藤原靖、山田圭、和田簡一郎、田所伸郎、山本直也、谷俊一. 防ぎ得た麻痺の根絶にむけて—この10年間のJSSR術中脊髄モニタリング多施設研究成果より—. 第45回日本脊椎脊髄病学会、2016、4、千葉市
65. 伊藤全哉、松山幸弘、安藤宗治、寒竹司、小林祥、山本直也、和田簡一郎、山田圭、田所伸郎、木田和伸、藤原靖、高橋雅人、川端茂徳、四宮謙一、里見和彦、谷俊一. 胸椎後縦溝帯骨化症(OPLL)手術におけるBr-MEPのアラームポイント—8年越しの検討—. 第45回日本脊椎脊髄病学会、2016、4、千葉市

#### パネルディスカッション

1. 吉田宗人:脳神経外科の後輩が整形外科の技術や診療姿勢を学んでほしいこと 第45回日本脊椎脊髄病学会学術集会 幕張メッセ国際会議場, 千葉県幕張市 (2016.4)
2. 中川幸洋 吉田宗人 山田 宏 橋爪 洋 南出晃人 岩崎 博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 西井佑介 井口智揮:アスリートに対する頸椎内視鏡手術. 第42回日本整形外科スポーツ医学会 2016.9.16-18, 札幌

#### ワークショップ

1. 吉田宗人、山田 宏、南出晃人、中川幸洋、岩崎 博、筒井俊二、中尾慎一、佐藤公治、吉兼浩一:腰椎模型を用いた脊椎後方内視鏡手術実習. 第7回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー, 和歌山市, 2016. 6. 18.

#### c) 全国学会

1. 川上 守、石元優々、長田圭司、北川智子、福井大輔、中尾慎一: 腰椎除圧固定術を受けた腰部脊柱管狭窄症における術前腰椎機能の影響. 第25回日本インストゥメンテーション学会, 2016.10. 長崎
2. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 岩崎 博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平: XLIFによる腰椎椎体間固定術の骨癒合率 第6回日本成人脊柱変形学会, 2016.3.12 新潟市
3. 山田 宏 吉田宗人 橋爪 洋 南出晃人 中川幸洋 岩崎 博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平: XLIF手技により生じた冠状面椎体骨折 第6回日本成人脊柱変形学会, 2016.3.12 新潟市
4. 山田宏 吉田宗人 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋 岩崎博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平: XLIFによる成人側弯症の治療成績—従来法との比較— 第89回日本整形外科学会学術総会, 2016.5.12-16 横浜市
5. 山田宏 吉田宗人 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋 岩崎博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平: XLIFによる成人側弯症の治療成績—従来法との比較— 第45回日本脊椎脊髄病学会, 2016.4.14-16 幕張市
6. 山田 宏 吉田宗人 橋爪洋 湯川泰紹 南出晃人 中川幸洋 岩崎博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平: 側方進入腰椎椎体間固定術時の終板損傷を回避するためのギャッジアップテクニック. 第24回日本腰痛学会, 2016.9.3 甲府市
7. 山田 宏 吉田宗人 橋爪洋 湯川泰紹 南出晃人 中川幸洋 岩崎博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平: 成人脊柱変形矯正手術で固定上位端をL1もしくはL2におくことは本当に避けるべきか? 第19回日本低侵襲脊椎外科学会, 2016.11.25 東京
8. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、麻殖生和博、瀧口登、吉田宗人. 経頭蓋電気刺激・筋誘発電位を用いた頸椎椎弓形成術時のC5麻痺予防のモニタリング. 第45回日本脊椎脊髄病学会, 2016.4 千葉市
9. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、麻殖生和博、瀧口登、吉田宗人. 胸椎椎間板ヘルニアに対する脊髄機能モニタリングを併用した後方椎間板摘出術の検討. 第45回日本脊椎脊髄病学会, 2016.4 千葉市
10. 安藤宗治、玉置哲也、峠康、麻殖生和博、坂田亮介、阿部唯一、瀧口登、久保井勇樹、佐々木俊二、松本卓二、吉田宗人. 胸髄症の手術における術中脊髄機能モニタリングの検討. 第89回日本整形外科学会, 2016.5 横浜市

11. 安藤宗治、玉置哲也、峠康、麻殖生和博、坂田亮介、阿部唯一、瀧口登、久保井勇樹、佐々木俊二、松本卓二、吉田宗人、磁気刺激法を用いた腰椎椎間孔部狭窄の診断の試み、第 89 回日本整形外科学会、2016.5 横浜市
12. 安藤宗治、玉置哲也、峠康、市川和昭、吉増千恵、三宅崇登、伊庭信幸、榎本菜那、脊髄電気刺激・筋誘発電位を用いた脊髄機能モニタリングの経験、第 46 回日本臨床神経生理学学会 2016.10 郡山市
13. 安藤宗治、玉置哲也、脊髄機能モニタリングにおける脊髄電気刺激・筋誘発電位の有用性、第 51 回日本脊髄障害医学会、2016.11 千葉市
14. 橋爪洋、山田宏、岡敬之、寺口真年、籠谷良平、浅井宣樹、岩橋弘樹、佐々木貴英、神藤一紀、吉村典子、吉田宗人、ロコモ予防の取り組みは住民の受療行動を変化させるか？第 89 回日本整形外科学会学術総会、2016.5. 横浜市
15. 橋爪洋、吉村典子、山田宏、岡敬之、岩橋弘樹、佐々木貴英、神藤一紀、宮崎展行、中川幸洋、南出晃人、吉田宗人、ロコモ予防体操ビデオを用いた地域住民への介入効果の検証、第 89 回日本整形外科学会学術総会、2016.5. 横浜市
16. 橋爪洋、吉村典子、村木重之、松平浩、阿久根徹、中村耕三、吉田宗人、傍脊柱筋変性は脊柱バランス不良の最大関連要因である：The Wakayama Spine Study、第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会、2016.6. 京都市
17. 橋爪洋、中尾慎一、吉田宗人、ロコモ予防の取り組みは住民の受療行動を変化させるか？第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会、2016.6. 京都市
18. 橋爪洋、吉村典子、山田宏、岡敬之、寺口真年、岩橋弘樹、浅井宣樹、佐々木貴英、村木重之、松平浩、筒井俊二、岩崎博、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人、高齢者の姿勢不良・腰痛に対する椎体骨折と椎間板変性の高位別影響度合いについて-The Wakayama Spine Study、第 24 回日本腰痛学会、2016.9. 甲府市
19. 湯川泰紹、加藤文彦、山田宏、吉田宗人、PI(pelvic incidence)は姿勢、性別、加齢で変化するのか？第 25 回日本インストゥルメンテーション学会、2016.10.28-29、長崎
20. 松本卓二、木村友香子：サルコペニアを由来とする高齢者大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折におけるリハビリテーション後に投与する栄養補助食品の効能の比較検討、第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2016.2. 福岡
21. 松本卓二、木村友香子：リハビリテーション後に投与する栄養補助食品の大腿骨頸部骨折患者における栄養学的指標の改善効果についての検討、第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2016.2. 福岡
22. 松本卓二、吉田宗人、山田宏、岩崎安博：整形外科疾患における救急患者の外傷重症度スコアによる重症度の検討整形関連疾患と他疾患の重症度および症例数の比較検討、第 89 回日本整形外科学会学術総会 2016.5. 横浜
23. 松本卓二、麻殖生和博、峠康：高齢者大腿骨転子部骨折における中野 3D-CT 分類を用いた遠位横止めを使用しない大腿骨近位部用 long nail の臨床成績の検討、第 42 回日本骨折治療学会 2016.7. 東京
24. 松本卓二、麻殖生和博、峠康：大腿骨近位型髓内釘 ITERTAN のラグスクリューの外側皮質内陥入例の検討、第 42 回日本骨折治療学会 2016.7. 東京
25. 松本卓二、麻殖生和博、峠康：大腿骨転子部骨折における骨幹部骨片の外側不安定性についての考察、第 42 回日本骨折治療学会 2016.7. 東京
26. 松本卓二、安藤宗治、峠康、坂田亮介、佐々木俊二：60 歳以上女性の大腿骨近位部骨折患者における糖尿病合併患者および非糖尿病患者の骨折型、発症年齢の比較検討と HbA1c および空腹時血糖の治療・未治療患者における検討、第 18 回骨粗鬆症学会 2016.10. 仙台
27. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、高見正成、岡田基宏、中尾慎一、籠谷良平、岩橋弘樹：腰椎変性すべり症に対する画像的病期分類の設定とその病期からの低侵襲除圧の有用性の検討、第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会、千葉市、2016. 4. 14-16.
28. 南出晃人、吉田宗人、岩橋弘樹、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、高見正成、岡田基宏、中尾慎一、籠谷良平：頸椎局所後弯が頸椎定性脊髄症に対する内視鏡下除圧術の治療成績に影響するか、第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会、千葉市、2016. 4. 14-16.
29. 南出晃人、吉田宗人、岩橋弘樹、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、高見正成、岡田基宏、中尾慎一、籠谷良平：腰椎変性側弯を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する低侵襲除圧の治療成績、第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会、千葉市、2016. 4. 14-16.

30. 南出晃人、吉田宗人、山田 宏、橋爪 洋、中川幸洋、岩崎 博、筒井俊二、高見正成、岡田基宏、中尾慎一、籠谷良平：腰椎変性すべり症に対する低侵襲除圧の効果. 第 89 回日本整形外科学会学術総会, 横浜市, 2016.5. 12-15.
31. 南出晃人、吉田宗人、山田 宏、中川幸洋、岩崎 博、岩橋弘樹：頸椎定形性脊髄症に対する内視鏡下除圧術の治療成績に頸椎局所後弯が影響するか. 第 127 回中部日本整形外科・災害外科学会学術集会, 松本市, 2016. 9.30-10.1.
32. 南出晃人、吉田宗人、山田 宏、中川幸洋、橋爪 洋、湯川泰紹、岩崎 博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一：頸椎定形性脊髄症に対する articular segment 部の除圧の有用性-内視鏡下頸椎後方除圧術の長期性痛からの検証. 第 22 回日本最小侵襲整形外科学会学術集会, 名古屋市, 2016. 11.11-12.
33. 南出晃人、吉田宗人、山田 宏、湯川泰紹、中川幸洋、筒井俊二、高見正成：変性側弯を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する低侵襲除圧術の治療成績の検討. 第 50 回日本側弯症学会学術集会. 京都市, 2016. 11. 17-19.
34. 南出晃人：【座長】一般演題 12 「低侵襲手術 1」第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 千葉市. 2016. 4.13-16.
35. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、岩崎博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、岡田沙枝：脊椎再手術における XLIF の応用と有用性. 第 6 回日本成人脊柱変形学会、2016.3.11-12、新潟市
36. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、岩崎博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、籠谷良平、岩橋弘樹：頸椎定形性筋萎縮症に対する後方内視鏡下除圧術の成績. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2016.4.14-16、幕張
37. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、岩崎博、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、籠谷良平、岩橋弘樹：脊椎 Revision surgery における XLIF(eXtreme Lateral Interbody Fusion)の成績と有用性. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2016.4.14-16、幕張
38. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 筒井俊二：頸椎定形性筋萎縮症に対する頸椎内視鏡手術. 第 51 回日本脊髄障害医学会 2016.11.10-11、幕張
39. 北野陽二：母子 CM 関節症に対する locking plate を用いた関節固定術の経験. 第 59 回日本手外科学会学術集会, 2016.4, 広島
40. 北野陽二：橈骨遠位端骨折に対する掌側 locking plate 固定術の合併症と抜釘所見. 第 42 回日本骨折治療学会, 2016.7, 東京
41. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、吉田宗人：低侵襲側方進入椎体間固定手術(XLIF®)における腰神経障害と術中神経モニタリングの関係. 第 6 回日本成人脊柱変形学会, 2016. 3.
42. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、吉田宗人：低侵襲側方進入椎体間固定手術(XLIF®)における術中・術後早期合併症. 第 6 回日本成人脊柱変形学会, 2016. 3.
43. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、吉田宗人：低侵襲側方進入椎体間固定手術の影 -Extreme lateral interbody fusion (XLIF®)の術中・術後合併症-. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016.4.
44. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、吉田宗人：Extreme lateral interbody fusion (XLIF®)における術中・術後早期合併症. 第 89 回日本整形外科学会学術総会, 2016. 5.
45. 岩崎 博、山田 宏、吉田宗人：経頭蓋電気刺激末梢筋記録モニタリングの有用性-術中体位による神経障害を回避し得た 3 症例-. 第 43 回日本生体電気・物理刺激研究会, 2016.3 和歌山
46. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、筒井俊二、高見正成、中尾慎一、芝崎裕順、中村一貴、吉田宗人：低侵襲側方進入椎体間固定手術(XLIF®)時の術中腰神経モニタリング. 第 37 回脊髄機能診断研究会, 2016.2 東京
47. 筒井俊二、岩崎博、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、高見正成、中尾慎一、岩橋弘樹、出口剛士、吉田宗人：経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における閾値刺激での多連発刺激の有用性. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会、2016. 4. 幕張市
48. 筒井俊二、山田宏、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋、高見正成、籠谷良平、吉田宗人：思春期特発性側弯症の胸椎頂椎部椎弓根スクリューの刺入精度-椎体回旋度の影響と O-arm ナビゲーションの有用性-. 第 50 回日本側弯症学会、2016. 11. 京都市
49. 筒井俊二、岩崎博、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、高見正成、中尾慎一、岩橋弘樹、出口剛士、吉田宗人：経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における多連発刺激の有用性 - 閾値刺激による電位記録 -. 第 89 回日本整形外科学会学術集会、2016. 5. 横浜市
50. 中根康博、原田 誠、岩崎正文、阿部唯一、佐々木貴英、吉田宗人：肩鎖関節脱臼に対する Arthrex 社 Dog Bone Button を用いた鏡視下烏口鎖骨靭帯再建術の短期成績. 第 8 回 JOSKAS 2016 20016.7.28 福岡



51. 中根康博、原田 誠、阿部唯一、佐々木貴英、井口智揮: スポーツ外傷で発生した若年者肩甲下筋腱単独断裂の一例 第43回 日本肩関節学会 2016.10.20 広島
52. 中根康博、原田 誠、阿部唯一、佐々木貴英、井口智揮: 肩鎖関節脱臼に対する鏡視下烏口鎖骨靭帯再建術の短期成績 第43回 日本肩関節学会 2016.10.20 広島
53. 高見正成、辻本修平、長田圭司: 90歳を超える高齢者の大腿骨近位部骨折に関する生命予後の検討. 日本整形外科学会・学術集会, 2016.5 横浜市
54. 高見正成、岡田基宏、延與良夫、岩崎博、西秀人、吉田宗人: 連続しない離れた箇所での2カ所の不安定性脊椎骨折を有する症例 (floating spine) の検討. 日本整形外科学会・学術集会, 2016.5 横浜市
55. 高見正成、吉田宗人: floating spine injuries. 日本骨折治療学会, 2016.7 東京
56. 高見正成、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、湯川泰紹、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、中尾慎一. 腰椎変性後側弯症に対する低侵襲側方進入椎体間固定術における椎体回旋矯正効果. 第19回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2016.11 東京
57. 中尾慎一、吉田宗人ほか: 仮想内視鏡ナビゲーション上での骨切除再現性の検討. 第10回日本CAOS研究会, 2016.3.24-25 愛知県犬山市
58. 中尾慎一、吉田宗人ほか: 脊椎内視鏡手術シミュレーターの画像再現性の検討. 第45回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016.4.14-16 千葉市
59. 中尾慎一、吉田宗人ほか: 仮想内視鏡ナビゲーション上での骨切除再現性の検討. 第45回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016.4.14-16 千葉市
60. 宮本 選、谷口隆哉、谷口 亘、佐々木貴英、曾根勝真弓、神藤一紀、吉田宗人: 当科における大腿骨後顆プレカット法を用いた人工膝関節症例の検討. 第46回日本人工関節学会 2016.2.26-27 大阪
61. 谷口隆哉: 当科における人工股関節再置換術の大腿骨側再建の検討. 第46回日本人工関節学会, 2016.2.26 大阪
62. 谷口隆哉: 当院における同種骨塊・KT プレート使用 人工股関節再置換術症例の中短期成績. 第46回日本人工関節学会, 2016.2.26 大阪
63. 岩田勝栄: 当院における成人上腕骨遠位部骨折の治療成績. 第28回日本肘関節学会学術集会, 2016.2, 岡山
64. 岩田勝栄: 多数指切断に対する異所性再接着の2例. 第59回日本手外科学会学術集会, 2016.4, 広島
65. 谷口亘、谷口隆哉、宮本選、佐々木貴英、曾根勝真弓、神藤一紀、阿部唯一、宮崎展行、吉田宗人: 当科におけるKT プレート使用人工股関節再置換術症例の中短期成績. 第46回日本人工関節学会, 2016.2.26 大阪
66. 谷口亘 杉村弥恵 曾根勝真弓 西尾尚子 筒井俊二 西秀人 吉田宗人 中塚映政: 神経障害性疼痛における前帯状皮質活性化が脊髄後角ニューロンに与える影響. 第38回日本疼痛学会, 2016.6.13
67. 谷口亘、宮本選、谷口隆哉、曾根勝真弓、神藤一紀、宮崎展行、吉田宗人: 同種骨塊・KT プレート使用人工股関節白蓋再建例のゆるみ因子の検討. 第43回日本股関節学会, 2016.11.5 大阪
68. 石元優々: 腰部脊柱管狭窄症固定術に対する CBT 法と従来法スクリューの術後比較検討 The comparison for surgical outcomes of pedicle screw with cortical bone trajectory compared with conventional trajectory for fusion surgeries with lumbar spinal stenosis. 第45回日本脊椎脊髄病学会、2016.4. 幕張市
69. 石元優々 川上守 中尾慎一 長田圭司 北川智子 松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症固定術に対する CBT 法と従来法スクリューの術後1年の比較検討 The comparison for outcomes between CBT and conventional PS for fusion surgeries with lumbar spinal stenosis of 1-year follow-up. 第25回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2016.10.28-29 長崎
70. 福井大輔 川上 守 内木 充: stressは腰痛を発症させるか? 第31回日本整形外科学会基礎学術集会 2016.10.13-10.14
71. 下江隆司、土井一輝、服部泰典、坂本相哲: 動的肩 X 線撮影を用いた腕神経叢損傷に対する肩甲上神経修復術後の肩関節外転の分析. 第59回日本手外科学会学術集会, 2016.4.21. 広島
72. 下江隆司、土井一輝、服部泰典、坂本相哲: 腕神経叢損傷における肩甲上神経修復術後の動的肩 X 線撮影による肩外転角度測定の検証. 第89回日本整形外科学会, 2016.5.14. 横浜

73. 中村憲太, 西山大介, 山崎 悟, 岡田紗枝, 曾根勝真弓, 原田悌志, 山川量平, 松崎交作: 人工股関節置換術後における深部静脈血栓症の効果的なスクリーニング. 第46回日本人工関節学会. 2016.2. 大阪
74. 前田孝浩, 中川幸洋, 南出晃人, 山田 宏, 吉田宗人: 脊椎内視鏡手術後のいきみ動作後に生じた髄液漏について. 第19回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会. 2016.11.24 東京
75. 佐々木 貴英, 中根 康博, 原田 誠, 中村 智, 阿部 唯一, 岩崎 一夫, 岩崎 正文, 吉田 宗人: 肩関節に発生した色素性絨毛結節性滑膜炎に対し鏡視下手術を施行した1例. 第8回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2016.7, 福岡市
76. 佐々木 貴英, 中根 康博, 原田 誠, 中村 智, 阿部 唯一, 岩崎 一夫, 岩崎 正文, 吉田 宗人: 肩関節に発生した色素性絨毛結節性滑膜炎に対し鏡視下手術を施行した1例. 第43回日本肩関節学会, 2016.10, 広島市
77. 岩橋弘樹, 吉村典子, 橋爪洋, 山田宏, 岡敬之, 石元優々, 長田圭司, 村木重之, 松平浩, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人: 一般地域住民における硬膜管面積と腰痛の関連 -The Wakayama Spine Study-, 第89回日本整形外科学会学術総会, 2016.5 神奈川
78. 岩橋弘樹, 吉村典子, 橋爪洋, 山田宏, 岡敬之, 石元優々, 長田圭司, 寺口真年, 籠谷良平, 佐々木貴英, 神藤一紀, 村木重之, 松平浩, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人: 硬膜面積の狭小は非特異的腰痛の原因である -The Wakayama Spine Study-, 第45回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016.4 千葉
79. 曾根勝真弓, 谷口隆哉, 宮本 選, 谷口 亘, 佐々木貴英, 西岡修平, 山口耕史, 吉田宗人: 複数回の impaction bone grafting が破綻した後で KT plate による股臼再建が有効であった一例. 第46回日本人工関節学会, 2016.2, 大阪
80. 曾根勝真弓, 谷口 亘, 西尾尚子, 筒井俊二, 西 秀人, 中塚映政, 吉田宗人: インターフェロン $\gamma$ は CCL2/CCR2 シグナリングを介し脊髄後角細胞の NMDA 電流を増強する. 第38回日本疼痛学会, 2016.6, 札幌
81. 井口智揮, 中根康博, 原田 誠, 阿部唯一, 佐々木貴英: 肩関節不安定症を呈した傍関節唇嚢腫による肩甲上神経障害の1例. 第43回 日本肩関節学会 2016.10.20 広島
82. 神藤一紀, 宮崎展行, 宮本 選, 谷口隆哉, 峰 巨, 谷口 亘, 佐々木貴英, 曾根勝真弓, 山川量平, 吉田宗人: THA においてオフセットは患者満足度と FJS-12 に影響するか?, 第46回日本人工関節学会, 2016.2 大阪市
83. 神藤一紀, 吉村典子, 岡 敬之, 橋爪 洋, 南出晃人, 村木重之, 松平 浩, 岩橋弘樹, 中川幸洋, 山田 宏, 吉田宗人: 一般住民コホートにおける腰椎椎間関節水腫の有病率と臨床的意義について -The Wakayama Spine Study-, 第89回日本整形外科学会学術集会, 2016.5 横浜市
84. 神藤一紀, 宮崎展行, 阿部唯一, 宮本選, 谷口隆哉, 峰 巨, 谷口 亘, 曾根勝真弓, 吉田宗人: THA においてオフセットは患者満足度に影響するか?, 第43回日本股関節学会, 2016.11 大阪市
85. 出口剛士: 経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における多連発刺激の至適刺激条件と安全性に関する実験的検討. 第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
86. 出口剛士, 筒井俊二, 岩橋弘樹, 中川幸洋, 吉田宗人: 経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における多連発刺激の至適刺激条件と安全性に関する実験的検討. 第45回日本脊椎脊髄病学会, 第89回日本整形外科学会学術集会, 2016. 5. 横浜市
87. 出口剛士, 筒井俊二, 岩橋弘樹, 中川幸洋, 吉田宗人: 経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における多連発刺激の至適刺激条件と安全性に関する実験的検討. 第45回日本脊椎脊髄病学会, 2016. 4. 幕張市
88. 西尾尚子, 谷口亘, 曾根勝真弓, 筒井俊二, 西秀人, 中塚映政, 吉田宗人: CGRP は脊髄後角細胞の NMDA 受容体の活動性を増強する. 第38回日本疼痛学会, 2016. 6. 北海道
89. 西尾尚子, 谷口亘, 曾根勝真弓, 西秀人, 中塚映政, 吉田宗人: 神経障害性疼痛における CGRP による脊髄内興奮性シナプス伝達抑制の可能性. 第9回日本運動器疼痛学会, 2016. 11. 東京
90. 山屋誠司, 野村和教, 中村陽介, 河合将紀, 吉田宗人. 外側型腰椎椎間板ヘルニアに対して内視鏡下椎間板摘出術を行った109例の治療成績・同部位ヘルニア再発手術率の検討. 第45回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 2016.4 千葉
91. 山屋誠司, 菅野晴夫, 中村聡, 佐藤貴晃, 高橋伸光, 中村陽介, 野村和教, 相澤俊峰, 小澤浩司, 井樋栄二, 吉田宗人. 腰椎椎間孔内・外狭窄と外側型椎間板ヘルニアに対する3次元術前計画—3D fusion imaging を用いた内視鏡下手術シミュレーションの有用性—. 第45回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 2016.4 千葉

92. 山屋誠司、野村和教、中村陽介、中崎清崇、武田條、中尾裕次、井樋栄二、吉田宗人. 頸椎 3D-MRI を用いた頸部神経根の描出と病態別圧迫形態の新しい評価法. 第 19 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会. 2016.11 東京
93. 山屋誠司、野村和教、中村陽介、井樋栄二、吉田宗人. 従来 MED で治療してきた患者は PED で治療可能か?—PED 導入に適切な初期症例の検討—. 第 19 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会. 2016.11 東京
94. 中村陽介、野村和教、山屋誠司、河合将紀、吉田宗人. 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下タンデム手術の有効性についての検討. 第 19 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会. 2016.11 東京
95. 山田賢太郎、安倍雄一郎、佐藤栄修、豊田宏光、寺井秀富、中村博亮、籠谷良平、石元優々、橋爪洋、吉田宗人、吉村典子、村木重之. DISH の存在は腰部脊柱管狭窄症に影響を及ぼす. 第 24 回日本腰痛学会、2016.9. 甲府市
96. 谷口慎一郎、齋藤貴徳、安藤宗治、小川潤、川端茂徳、玉置哲也. 整形外科施設における経頭蓋電気刺激運動筋誘発電位を用いた術中脊髄モニタリングの施行の実態と合併症に関するアンケート調査. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会、2016、4、千葉市
97. 藤原靖、松山幸弘、小林洋、伊藤全哉、寒竹司、山田圭、齋藤貴徳、川端茂徳、木田和伸、和田簡一郎、安藤宗治、山本直也、高橋雅人、谷俊一. 脊髄内腫瘍摘出術における麻痺の持続期間に影響を与える因子の検討 (日本脊椎脊髄病学会多施設共同前向き研究). 第 45 回日本脊椎脊髄病学会、2016、4、千葉市
98. 谷口慎一郎、齋藤貴徳、安藤宗治、小川潤、川端茂徳、玉置哲也、飯田宏樹、川口昌彦、後藤哲哉、佐々木達也、川真田樹人. 経頭蓋電気刺激運動筋誘発電位による術中脊髄モニタリングの合併症に関するアンケート調査. 第 89 回日本整形外科学会、2016、5、横浜市
99. 木村 友香子、松本 卓二: リハ栄養でフレイル予防効果 大腿骨近位部骨折および脊椎椎体骨折における栄養飲料の効能. 第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2016.2. 福岡
100. 峯玉賢和、川上 守、石元優々、長田圭司、隅谷 政、成川 臨、山本義男、中川雅文 左近奈菜、原田健史、堀晋之助、北川智子、松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法後の 2 年後の予後-理学療法後の手術の有無での比較. 第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会、2016.6. 京都
101. 中川雅文、長田圭司、峯玉賢和、山本義男、原田健史、森下詔子、北川智子、石元優々、隅谷 政、川上 守: 新規骨粗鬆症性椎体骨折に対する早期運動療法の治療成績. 第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会、2016.6. 京都
102. 折田純久、山下敏彦、米延策雄、川上 守、田口敏彦、菊地臣一、紺野慎一、牛田亨宏、中村雅也、藤野圭司、松田秀一、米 和徳、高橋和久、大鳥精司: 腰椎疾患における神経障害性疼痛の特徴—脊椎関連慢性疼痛患者の有病率調査サブ解析より—. 第 24 回日本腰痛学会、2016.9 甲府
103. 北川智子、川上 守、石元優々、峯玉賢和、中川雅文、森下詔子、松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症患者の患者立脚型評価に影響を及ぼす精神・心理的因子について. 第 24 回日本腰痛学会、2016.9. 甲府
104. 峯玉賢和、川上 守、石元優々、長田圭司、隅谷 政、三宅隆広、山本義男、中川雅文、左近奈菜、北川智子、松岡淑子: 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法と手術療法の 2 年間の比較. 第 24 回日本腰痛学会、2016.9.甲府
105. 中川雅文、川上 守、長田圭司、石元優々、峯玉賢和、山本義男、左近奈菜、北川智子、森下詔子、松岡淑子: 健康者の頸部愁訴は矢状面脊椎骨盤アライメントに関係する. 第 24 回日本腰痛学会、2016.9. 甲府
106. 左近奈菜、長田圭司、中川雅文、峯玉賢和、三宅隆広、石元優々、隅谷 政、佐々木秀行、川上 守: 新規骨粗鬆症性椎体骨折に対する早期運動療法の有効性第 66 回日本体質医学会総会、2016.9 和歌山
107. 竹内大作、種市 洋、橋爪 洋、金森昌彦、寒竹 司、金山雅弘、松本守雄、松山幸弘、笠井裕一、竹下克志、山崎 健、田中信宏、松永俊二、宮本雅史、田中雅人、紺野慎一、川上 守: 腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼすエックス線学的 (脊柱変形) パラメータを検討する多施設横断的臨床研究. 第 50 回日本側弯症学会、2016.11. 京都
108. 原田 誠、中根康博、岩崎正文、阿部唯一、佐々木貴英、吉田宗人: 鏡視下手術を施行した肩甲骨関節窩骨嚢腫の一例. 第 8 回 JOSKAS 2016 20016.7.29 福岡
109. 原田 誠、中根康博、阿部唯一、佐々木貴英、井口智揮: 当院の Pullay 損傷に対する手術法と成績. 第 43 回 日本肩関節学会 2016.10.20 広島

110. 藤原健太、中根康博、原田 誠、川上基好、柏木孝介、對馬龍太、日美志織、村本佳代子、吉田 隆紀: リバース型人工肩関節置換術後における等速性筋力と筋電図の特徴 第 43 回 日本肩関節学会 2016.10.21 広島

d) 地方学会

1. 山田 宏 吉田宗人 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋 岩崎博 筒井俊二 高見正成 中尾慎一 籠谷良平: 腰椎椎体間固定術時の終板損傷を回避するためのギャッジアップテクニック. 第 13 回和歌山 MIOS フォーラム, 2016.1.16. 和歌山市
2. 山田宏 吉田宗人 筒井俊二 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋: XLIF®における医原性終板損傷を回避するためのギャッジアップテクニック. 第 127 回中部日本整形外科災害外科学会 2016.10.1 松本市
3. 林 未統、木岡 雅彦、西岡 修平、中谷 如希: 小指基節骨頸部骨折後の回旋変形に対して中手骨で矯正骨切り術を行った一例. 第 126 回中部日本整形外科・災害外科学会, 2016.4.
4. 南出晃人: 【座長】一般演題 30 「低侵襲余王」第 127 回中部日本整形外科・災害外科学会学術集会. 松本市, 2016. 9.30-10.1.
5. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 岩崎博: 頸椎定性筋萎縮症に対する後方内視鏡下除圧術. 第 126 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2016. 4.8-9.浜松市
6. 北野陽二: 当院における遠位茎腓腹皮弁の経験. 和歌山県整形外科医会, 2016.2, 和歌山
7. 北野陽二: 橈骨遠位端骨折に対する掌側 locking plate 固定術の合併症と抜釘所見. 第 127 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2016.9, 長野
8. 岩崎 博, 山田 宏, 橋爪洋, 南出 晃人, 中川 幸洋, 吉田 宗人: 低侵襲側方進入椎体間固定手術(XLIF®)における周術期合併症-安全に XLIF®を行うために-. 第 126 回中部日本整形外科・災害外科学会, 2016.4.
9. 岩崎 博, 山田 宏, 橋爪 洋, 南出 晃人, 中川 幸洋, 吉田 宗人: 低侵襲側方進入椎体間固定手術を安全に行うために-側臥位 MRI を用いた腸管・腎臓位置の検討.第 127 回中部日本整形外科・災害外科学会,2016. 9.
10. 筒井俊二、山田宏、南出晃人、中川幸洋、高見正成、吉田宗人: 特発性側弯症の椎弓根スクリューの刺入精度-椎体回旋度の影響と O-arm ナビゲーションの有用性-. 第 127 回中部日本整形外科災害外科学会、2016. 9. 松本市
11. 中尾慎一、吉田宗人ほか: ナビゲーションを利用した内視鏡手術シミュレーター内の骨切除再現性の検討. 第 126 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2016.4.8-9 静岡県浜松市
12. 宮本 選、谷口隆哉、谷口 亘、佐々木貴英、曾根勝真弓、神藤一紀、吉田宗人: 当科における大腿骨後顆プレカット法を用いた人工膝関節症例の検討. 第 26 回和歌山県整形外科医会 2016.2.7 和歌山
13. 宮本 選: 変形性関節症の痛みに関して. 第 13 回和歌山最少侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム 2016.1.16 和歌山
14. 谷口隆哉: OCM での modern-cement-technique を用いた cement-stem の使用経験. 第 13 回和歌山 MIOS フォーラム, 2016.1.16. 和歌山市
15. 谷口隆哉: 複数回の impaction bone grafting が破綻した後 K-T plate による股臼再建が有効であった一例. 京阪神集談会 2016.7
16. 石元優々 川上守 長田圭司 松岡淑子 谷川聖子 中尾慎一: 腰椎手術後の髄液漏れに対する静脈血注入療法. 第 13 回和歌山 MIOS フォーラム, 2016.1.16. 和歌山市
17. 石元優々、長田圭司、川上 守: 地域住民における腰痛と膝痛・腰部脊柱管狭窄症の有病率とその関係について: かつらぎ study. 第 26 回和歌山県整形外科医会学術集会, 2016.2. 和歌山市
18. 石元優々、川上 守、長田圭司、松岡淑子、谷川聖子、中尾慎一: 腰椎手術後の髄液漏れに対する静脈血注入療法. 第 447 回整形外科集談会 京阪神地方会, 2016.2. 大阪市
19. 北野岳史 中谷如希: 小児の鎖骨近位端に発生した骨髓炎の 1 例. 第 26 回和歌山県整形外科医会学術集会, 2016.2. 和歌山
20. 長田圭司、石元優々、北川智子、北田かおり、森下詔子、松岡淑子、川上 守: 一般健常者における頸部愁訴の特徴: 全脊柱 X 線や心理的評価の検討も加えて. 第 26 回和歌山県整形外科医会学術集会, 2016.2.和歌山市
21. 下江隆司、橋本忠晃、神埜聖治、浅井宣樹、出口剛士、吉田宗人. 前腕の開放骨折および軟部組織損傷を伴う肘頭部皮膚欠損に対して逆行性外側上腕皮弁による治療を行った 1 例. 第 126 回中部日本整形外科災害外科学会,2016.4.8. 浜松

22. 下江隆司, 神埜聖治, 浅井宣樹, 吉田宗人. ジアゼパムの動脈内投与によって母指壊死を来たした1例. 第127回中部日本整形外科災害外科学会,2016.10.1. 松本
23. 下江隆司, 神埜聖治, 橋本忠晃, 浅井宣樹, 出口剛士, 吉田宗人: 肘関節部皮膚軟部組織欠損に対して逆行性外側上腕皮弁による治療を行った2例. 第13回和歌山MIOSフォーラム,2016.1.16. 和歌山市
24. 前田孝浩, 中川幸洋, 南出晃人, 山田 宏, 吉田宗人: 脊椎内視鏡手術術後のいきみ動作後に生じた髄液漏について. 第126回中部日本整形外科災害外科学会,2016.4.9. 浜松
25. 佐々木 貴英, 橋爪 洋, 浅井 宣樹, 岩橋 弘樹, 山田 宏, 吉田 宗人: 地域住民における脊柱周囲筋の疫学指標と臨床症状との関連, 第127回中部日本整形外科災害外科学会学術集会, 2016.10, 松本市
26. 井口 智輝, 林 未統, 木岡 雅彦, 峰 巨, 西岡修平: 大腿骨頸部骨折に対する Hansson Pinloc System の使用経験. 第84回和歌山医学会総会 2016.7.3 和歌山市
27. 曾根勝真弓, 下園英史, 岡安 勤, 玉置哲也, 築頼能三, 吉田宗人: 先天性鎖骨偽関節症の2例. 第84回和歌山医学会総会, 2016.7, 和歌山
28. 神藤一紀, 谷口泰徳, 下江隆司, 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 尺骨神経の走行異常を認めた肘部管症候群の2例, 第33回中部日本手外科研究会, 2016.1 和歌山市
29. 神藤一紀, 宮崎展行, 宮本 選, 谷口隆哉, 峰 巨, 谷口 亘, 佐々木貴英, 曾根勝真弓, 山川量平, 吉田宗人: THA においてオフセットは患者満足度と FJS-12 に影響するか?, 第26回和歌山整形外科医会学術集会, 2016.2 和歌山市
30. 神藤一紀, 宮崎展行, 佐々木俊二, 宮本選, 谷口隆哉, 峰 巨, 三宅悠介, 曾根勝真弓, 吉田宗人: 両側同時TKAを行った一卵生双生児の一例: 第84回和歌山県医学会総会, 2016.7 和歌山市
31. 北山啓太, 下江隆司, 神埜聖治, 浅井宣樹, 吉田宗人: 逆行性短趾伸筋弁で治療した足部外傷性皮膚欠損の1例. 第84回和歌山医学会総会, 2016.7. 和歌山
32. 北山啓太, 谷口隆哉, 宮本選, 谷口亘, 佐々木貴英, 曾根勝真弓, 吉田宗人: 複数回の impaction bone grafting が破綻した後にKT plate による股臼再建が有効であった1例. 第448回整形外科集談会京阪神地方会, 2016.7. 大阪
33. 北山啓太, 下江隆司, 神埜聖治, 浅井宣樹, 吉田宗人: 足背部外傷性皮膚軟部組織欠損に対し逆行性短趾伸筋弁による治療を行った1例. 第127回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2016.10. 長野
34. 村上公英, 三宅悠介, 金川建彦, 河合将紀, 福井大輔, 前田孝浩, 石口 明: 上腕骨近位端骨折に対する人工骨頭置換術の治療成績とその検討. 和歌山整形外科医会,2016.2.和歌山
35. 村上公英, 石口明, 岡田基宏, 福井大輔, 三宅悠介, 金川建彦, 河合将紀: スタートダッシュの際に発生した両側脛骨近位端骨端線損傷の一例. 第84回和歌山医学会総会,2016.7.和歌山
36. 山川量平: 携帯型加速度式ナビゲーションシステム(KneeAlign2 System)を使用したTKAの小経験. 第13回和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム, 2016.1, 和歌山
37. 山川量平: 人口股関節全置換術後に脆弱性骨盤骨折を繰り返した2例. 第127回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2016.9, 長野
38. 山川量平: 鷲手変形をきたしたC8神経根症1例. 第84回和歌山医学会総会. 2016.7, 和歌山
39. 西岡 修平, 林 未統, 大寶 英矢, 木岡 雅彦, 井口 智揮: 上腕骨顆上骨折後の内反肘に対し創外固定を用いて矯正骨切り術を行った一例. 和歌山県整形外科医会 学術集会. 2016.2
40. 西岡 修平, 林 未統, 木岡 雅彦, 峰 巨: 上腕骨顆上骨折後の内反肘に対し創外固定を用いて矯正骨切り術を行った一例. 第127回中部日本整形外科災害外科学会, 2016.9. 松本市
41. 西岡修平, 林 未統, 木岡 雅彦, 峰 巨, 井口 智揮: 環指DIP関節に発生した好酸球性肉芽腫症の一例. 第84回和歌山医学会総会 22016.7.3 和歌山市
42. 出口剛士: 経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における多連発刺激の至適刺激条件と安全性に関する実験的検討. 第37回脊髄機能論議研究会, 2016, 2, 東京

43. 太地良:XLIF®+PPS が有用であった腰椎 DSA による kyphotic deformity の一例. 第 126 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2016.4. 浜松
44. 太地良: 関節リウマチに合併した脊柱変形に対する最小侵襲脊椎安定術. 第 127 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2016.9. 松本
45. 太地良: XLIF+PPS が有用であった腰椎 DSA による kyphotic deformity の一例. 第 13 回和歌山最小侵襲整形外科(MIOS)フォーラム, 2016.1. 和歌山
46. 太地良: RA を有する腰椎後側弯症に対する XLIF の手術成績. 第 26 回和歌山県整形外科医会学術集会, 2016.2. 和歌山
47. 太地良: Doctor's delay が両下肢運動機能障害を招いた脊髄保留症候群の一例. 第 84 回和歌山医学会総会, 2016.7. 和歌山
48. 友松晃一、岡田基宏、橋本忠晃、吉田宗人: 硬膜外膿瘍を伴った腰椎化膿性脊椎炎に対する低侵襲手術の経験. 第 84 回和歌山医学会総会, 2016,7,3 和歌山
49. 藤木貴頭 中川幸洋 山田 宏 橋爪 洋 南出晃人 岩崎 博 筒井俊二 北裏清剛 尾崎良行 吉田宗人: 強直脊椎炎の mobile segment において複数回の除圧単独手術を要した内視鏡手術の一例, 第 84 回和歌山医学会総会, 2016. 4 和歌山
50. 藤木貴頭 中川幸洋 山田 宏 橋爪 洋 南出晃人 岩崎 博 筒井俊二 北裏清剛 尾崎良行 吉田宗人: 強直脊椎における可動椎間に発生した脊柱管狭窄症に対して後方内視鏡下除圧術で対応した一例, 第 19 回日本低侵襲脊椎外科学会, 2016. 11 東京
51. 増田圭哉: 腹臥位脊椎手術による尺骨神経障害を回避した 2 症例-経頭蓋電気刺激末梢筋記録モニタリングの有用性-和歌山医学会総会,2016.7.3
52. 増田圭哉: 経頭蓋電気刺激末梢筋記録モニタリングの有用性-術中体位による神経障害を回避した 4 症例,第 127 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2016,9,11
53. 山田賢太郎 佐藤栄修 橋爪洋 吉村典子 中村博亮 吉田宗人. DISH は有症状の腰部脊柱管狭窄症と関連がある. 第 127 回中部日本整形外科災害外科学会、2016.9. 松本市
54. 峯玉賢和、川上 守、石元優々、長田圭司、北川智子、隅谷 政、三宅隆広、山本義男、左近奈菜、中川雅文: 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法後の治療成績-理学療法後の手術の有無での比較。第 84 回和歌山医学会総会, 2016.7.和歌山
55. 森下詔子、北川智子、峯玉賢和、石元優々、長田圭司、川上 守: 腰背部痛を伴う新規骨粗鬆症性椎体骨折に対する活動性維持療法. 第 84 回和歌山医学会総会, 2016.7. 和歌山
56. 中島 悠、石元優々、中尾慎一、長田圭司、朴 聖一、川上 守: 硬膜管背側に脱出した頸椎椎間板ヘルニアの 1 症例. 第 448 回整形外科集談会 京阪神地方会, 2016.7 大阪

e) その他(研究会等)

1. 吉田宗人: ライブサージェリー1 MELF(Micro Endoscopic Lumbar Foraminotomy), The 9th MISS Summit Forum, 伊東整形・内科 あいち腰痛クリニック, 愛知県 (2016.3)
2. 吉田宗人: ラジオ「痛いの・痛いの・飛んでけ!」 和歌山放送 月 1 回放送
3. 吉田宗人: 腰の痛みを治そう 和歌山放送/ FM 開局記念 セカンドライフフェスタ, 和歌山ビッグ愛, 和歌山市 (2016.6)
4. 山田 宏: 急性腰痛症 ABCラジオ「健やかライフ」2016.12.5-9 放送
5. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、瀧口登. 胸椎手術における術中脊髄機能モニタリングの問題点の検討. 脊髄機能診断研究会、2016.2. 東京
6. 安藤宗治、玉置哲也. 胸椎手術における Br(E)-MsEP と Sp(E)-MsEP との比較. 第 3 回日本脳脊髄術中モニタリング研究会 2016.9. 東京
7. 安藤宗治. 術中脊髄機能モニタリングの必要性和留意点. 第 52 回秋田県脊髄病研究会 2016.3. 秋田市
8. 安藤宗治. 脊椎疾患における術前電気診断と術中モニタリング. 第 58 回日本リハビリテーション医学会近畿地方会専門医臨床認定生涯教育研修会 2016. 7. 和歌山市
9. 安藤宗治. 脊髄刺激誘発記録誘発電位による術中脊髄モニタリング. 第 2 回術中脳脊髄モニタリングセミナー 2016.8 守口市

10. 安藤宗治: 脊椎脊髓疾患の画像診断と電気生理学的診断. 第14回日本整形外科学会脊椎脊髓内医研修会 2016.8 東京
11. 増田研一: スポーツ現場におけるメディカルサポート①注意を要した症例②現場帯同の実際. 平成27年度公益社団法人岡山県鍼灸師会第4回学術講習会, 2016.1.17, 岡山市
12. 増田研一: 帝塚山リハビリテーション病院第1階メディカルカンファレンス①リハビリテーション医学のトピックス②現場帯同の実際, 2016.1.18, 大阪市
13. 林未統, 大寶 英矢, 木岡 雅彦, 井口 智輝, 西岡 修平, 中谷 如希: 小指基節骨頸部骨折後の回旋変形に対して中手骨で矯正骨切り術を行った一例. 第13回和歌山MIOSフォーラム 2016.1.16
14. 中川幸洋: 第7回和歌山の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2016.6.18 和歌山市
15. 西 秀人: 整形外科と他診療科との接点. 日高臨床医勉強会 2016.1. 御坊市
16. 北野陽二: 橈骨遠位端骨折に対する掌側 Locking plate 固定術の抜釘所見. 第33回中部手外科研究会, 2016.1, 和歌山
17. 筒井俊二, 岩崎博, 芝崎裕順, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 高見正成, 中尾慎一, 岩橋弘樹, 出口剛士, 中村一貴, 吉田宗人: 経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録における多連発刺激の有用性 - 閾値刺激による電位記録 -. 第37回脊髄機能診断研究会, 2016. 2. 東京
18. 中根康博: 発育期のスポーツ障害について! 和歌山県コールドゲンキッズプロジェクト 保護者支援セミナー 2016.1.23 和歌山 県立体育館
19. 中根康博: 病院での『肩の治療』って? アステラス社内勉強会 2016.2.17 和歌山 アステラス社ビル
20. 中根康博: 病院での『肩の治療』って? ヤンセンファーマ社内勉強会 2016.4.8 和歌山 ヤンセンファーマ社ビル
21. 中根康博: ラグビー競技における重傷事故予防 平成28年度和歌山ラグビー協会主催セーフティーアシスタント講習会 2016.7.9 和歌山 和歌山工業高校
22. 中根康博: 当院でのリバーズ型人工肩関節置換術への取り組み 第12回和歌山骨関節靭帯フォーラム2016.8.20 和歌山
23. 中根康博: 和歌山でのスポーツ整形外科への取り組み ～肩・肘専門医として～ 平成28年度 関西アスレティックトレーナー連絡会(関西JASA-AT) 2016.9.11 和歌山
24. 中根康博: 和歌山でのスポーツ整形外科への取り組み ～肩・肘専門医として～ 平成28年度 関西アスレティックトレーナー連絡会(関西JASA-AT) 2016.9.11 和歌山
25. 中根康博: 肩患者さんの治療選択 角谷整形・堀病院リハビリ科合同勉強会 2016.10.15 大阪 堀病院
26. 中根康博: 1. スポーツ指導者に必要な医学的知識 (90分) 2. ジュニア期の身体的特徴とスポーツ (90分) 日本体育協会主催 スポーツリーダー、スポーツ少年団認定員養成講習会 2015.10.23 田辺市
27. 中根康博: 1. スポーツ指導者に必要な医学的知識 (90分) 2. ジュニア期の身体的特徴とスポーツ (90分) 日本体育協会主催 スポーツリーダー、スポーツ少年団認定員養成講習会 2016.10.30 和歌山市
28. 中根康博(パネリスト): 新鮮肩鎖関節脱臼に対して現在我々が行っている方法 Arthrex 社主催 closed meeting ～肩鎖関節脱臼・鎖骨遠位端骨折の手術～ 2016.9.24 大阪
29. 中根康博: 第1回和歌山野球肘検診 企画・実行: 角谷整形外科病院 2016.8.27 和歌山 北スポーツセンター
30. 中根康博: 第2回和歌山野球肘検診 企画・実行: 角谷整形外科病院 2016.12.11 和歌山 角谷整形外科病院
31. 中根康博: Zimmer Biomet 社主催 Shoulder Arthroscopy Cadaver Training Course 講師出張2016.12.15-17 シドニー (オーストラリア)
32. 中根康博 (座長): 肩関節拘縮にたいする多角的治療戦略 第6回 KKCM (関西肩コラボレーションミーティング) 2016.10.29 神戸
33. 中根康博 (座長): 本邦のリバーズ型人工肩関節置換術の未来 第1回阪奈 shoulder seminar 2016.11.3 大阪
34. 中根康博 (出務者): スポーツ医 現場活動 和歌山県高校ラグビー新人戦大会 (準決勝) 安全対策医務 2016.1.30 上富田スポーツグラウンド
35. 中根康博 (出務者): 第4回和歌山セブンスラグビー大会 安全対策医務 2016.3.13 和歌山紀三井寺競技場

36. 中根康博 (出務者) : 第 71 回 国民体育大会 和歌山代表の安全対策医として帯同 2016.10.5-7 岩手
37. 中根康博 (出務者) : ラグビートップリーグ和歌山大会 安全対策医務 2016.10.22 和歌山紀三井寺競技場
38. 中根康博 (出務者) : 和歌山県高校ラグビー県大会 (準決勝) 安全対策医務 2016.11.6 和歌山紀三井寺競技場
39. 中根康博 (出務者) : 和歌山県高校ラグビー県大会 (決勝) 安全対策医務 2016.11.12 和歌山紀三井寺競技場
40. 中根康博 (出務者) : 第 96 回 高校ラグビー花園大会 和歌山代表 : 和歌山工業高校に帯同 2016.12.27 大阪 (花園ラグビー場)
41. 延興 良夫 : 腰痛の診断と薬物療法. 痛みの治療における最新の知見, 2016.3 新宮市
42. 宮本 選, 谷口隆哉, 谷口 亘, 佐々木貴英, 曾根勝真弓, 神藤一紀, 吉田宗人 : 当科における大腿骨後顆プレカット法を用いた人工膝関節症例の検討. きのおに関節外科 2016.5.21 和歌山
43. 谷口隆哉 : プレカットトライアルを用いた TKA 勉強会コース 講師 2016.4
44. 谷口隆哉 : 理学療法専門研修会 人工関節置換術について ~最近の知見~ 講師 2016.5
45. 谷口隆哉 : smith&Nephys Japan Orthopaedics セミナー 講師 2016.10
46. 谷口隆哉 : 市民公開講座 膝・股関節痛でお悩みの方, 若さを取り戻しませんか? 講師 2016.12
47. 谷口亘, 杉村弥志, 西尾尚子, 曾根勝真弓, 筒井俊二, 西秀人, 中塚映政, 吉田宗人 : 活性酸素種による脊髄中枢性感作メカニズムについて -in vivo パッチクランプ法を用いた解析-. 第 37 回脊髄機能診断研究会, 2016.2.6, 東京
48. 谷口亘, 谷口隆哉, 宮本選, 佐々木貴英, 曾根勝真弓, 神藤一紀, 吉田宗人 : 当院における KT プレート使用 THA revision 症例の中短期成績. 第 26 回和歌山整形外科医会学術集会, 2016.2.7, 大阪
49. 谷口亘, 西尾尚子, 曾根勝真弓, 山中学, 西秀人, 筒井俊二, 中塚映政, 吉田宗人 : 活性酸素種による脊髄後角内 TRPA1 の活性化と脊髄中枢性感作について -in vivo パッチクランプ法を用いた解析-, 第 14 回整形外科痛みを語る会 2016.7.24, 名古屋
50. 石元優々, 川上守, 長田圭司, 松岡淑子, 谷川聖子 : 腰椎手術後に発生した 6 例の髄液漏れに対する静脈血注入療法. 第 28 回徳島脊椎カンファレンス, 2016.8. 徳島
51. 石元優々 : ロコモティブシンドロームの 3 大運動器疾患 -骨粗鬆症に対する啓発-. 旭化成 MR 講演 2016.2.24
52. 石元優々 : ロコモティブシンドロームの原因となる 3 大運動器疾患について -骨粗鬆症に目を向けよう-. アステラス MR 講演 2016.3.23
53. 石元優々 : 骨粗鬆症の疫学(かつらぎ STUDY)とアレンドロネート経口ゼリー剤の使用経験. 第 16 回 Wakayama JOYJOY Meeting -女性医療研究会- 2016.4.19
54. 石元優々 : ラジオ健康講座収録 2016.4.20
55. 石元優々 : ロコモティブシンドロームの原因となる 3 大運動器疾患について -骨粗鬆症に目を向けよう-. 科研製薬 MR 講演. 2016.4.27
56. 石元優々 : ロコモティブシンドロームと運動器疾患 -骨粗鬆症に目を向けよう-. 第一三共 MR 講演. 2016.5.24
57. 石元優々 : 腰部脊柱管狭窄症について 基礎手術まで. 病棟勉強会. 2016.5.27
58. 石元優々 : ロコモティブシンドロームについて 元気に長生き! 紀北出前出張 紀北かつらぎ農協東支店 2016.6.14
59. 石元優々 : ロコモティブシンドローム 死ぬまで歩いて! 紀北出前出張 橋下市くにきの郷 2016.7.26
60. 石元優々 : ラジオ健康講座収録 2016.8.25
61. 石元優々 : ロコモティブシンドロームと新規 NSAIDs 貼付剤の使用経験. OA フォーラム IN WAKAYAMA ダイワロイネットホテル 2016.8.25
62. 石元優々 : ロコモティブシンドローム いつまでも元気に! 紀北出前出張 かつらぎ町かせだ東コミュニティーセンター 2016.8.30
63. 石元優々 : 骨粗鬆症に目を向けよう~ロコモティブシンドロームの観点より~旭化成 MR 講演 2016.9.7
64. 石元優々 : 骨粗鬆症に目を向けよう -ロコモティブシンドロームの観点から-合同学術講演会 和歌山県医師会整形外科部会・和歌山市医師会内科部会 ホテルグランヴィア 2016.10.6
65. 石元優々 : ロコモティブシンドロームとロコアテプの使用経験. 帝人ファーム社内研修会講演 2016.10.21
66. 石元優々 : ロコモティブシンドローム ~健康で長生き~. 紀北健康講座 かつらぎ町広野集会所 2016.11.22
67. 福井大輔 谷口隆哉 宮本 選 谷口 亘 佐々木貴英 曾根勝真弓 北山啓太 吉田宗人 : 複数回の impaction bone grafting が破綻した後に KT plate による股臼再建が有効であった 1 例. 紀伊半島懇話会 2016.8.27



68. 神埜聖治、下江隆司、割栢健史、吉田宗人：高齢者肋骨原発骨肉腫の1例。紀伊半島整形外科懇話会, 2016.8, 奈良
69. 曾根勝真弓、谷口 亘、山中 学、西尾尚子、筒井俊二、西 秀人、中塚映政、吉田宗人：インターフェロン $\gamma$ によるCCL2/CCR2シグナリングを介した脊髄後角興奮性増強のメカニズム。第37回脊髄機能診断研究会, 2016.2, 東京
70. 曾根勝真弓、谷口 亘、宮本 選、谷口隆哉、宮崎展行、吉田宗人：人工股関節置換術における、術後満足度と痛み・機能スコア・心理スコアとの関係。第14回整形外科痛みを語る会, 2016.7, 名古屋
71. 太地良：MIStを用いた腰椎DSAによるkyphotic deformityの治療経験。第45回脊椎外科を学ぶ会, 2016.3. 大阪

#### 研究費交付状況

1. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 分担研究者 吉田宗人：脊柱靱帯骨化症に関する調査研究
2. 吉田宗人：平成 28 年ふくしま医療福祉機器開発事業費補助券事業による国産脊椎内視鏡開発：日本人医師の手法に適した脊椎外科手術用内視鏡システムの開発
3. 吉田宗人：共同研究（スカラ株式会社）：痰吸引用内視鏡開発及び脊椎内視鏡下手術用内視鏡の試作品開発
4. 文部科学省科学研究費（基盤研究(C)） 代表研究者 山田 宏：新しい疾患概念としての脊柱後弯症による筋疲労性軸性疼痛の解明
5. 文部科学省科学研究費（基盤研究(C)） 代表研究者 橋爪洋：サルコペニアと脊椎アライメント変化に着目した運動機能低下診断・予測ツールの開発
6. 文部科学省科学研究費（基盤研究(C)） 代表研究者 中川幸洋 研究分担者 筒井俊二：脊椎脊髄手術時の神経機能モニタリングにおける新しい大脳刺激法の開発
7. 文部科学省科学研究費（基盤研究(C)） 代表研究者 西 秀人 研究分担者 橋爪洋、谷口亘：腰部脊柱管外病変に係る難治性疼痛のメカニズム解明と治療法開発
8. 文部科学省科学研究費（基盤研究(C)） 代表研究者 岩崎 博：低侵襲脊椎手術実現のための新しい電極付硬膜外内視鏡の開発
9. 文部科学省科学研究費（基盤研究(C)） 代表研究者 中尾 慎一：脊椎内視鏡手術のための次世代ナビゲーションシステムの開発
10. 文部科学省科学研究費（若手研究(B)） 代表研究者 谷口亘：前帯状皮質活性化が脊髄後角に下行性疼痛賦活系を形成するメカニズムの解析
11. 文部科学省科学研究費（国際共同研究加速基金） 代表研究者 石元優々：MRI 画像上の腰部脊柱管狭窄有所見者の予後とその予測因子：住民コホートの追跡（国際共同研究強化）
12. 文部科学省科学研究費（若手研究(B)） 代表研究者 籠谷良平：びまん性特発性骨増殖症の予後と脊椎椎体骨折との関連：住民コホートの追跡
13. 文部科学省科学研究費（若手研究(B)） 代表研究者 寺口真年：住民コホート研究の追跡調査による脊椎退行性変化の危険因子と頸部痛・腰痛の解明
14. 文部科学省科学研究費（基盤研究(C)） 代表研究者 西尾尚子 研究分担者 谷口亘：In vivo パッチクランプ法による鍼灸鎮痛メカニズムの解明